令和４年度　社会福祉法人なでしこ会　事業報告書

《　基本理念　》

明るく誰もが温もりを感じ、夢のある生活の実現

社会福祉法人なでしこ会は、地域住民の自主的な福祉活動、保健活動等のための場を提供し、誰もが日常的に相互に支えあい、住み慣れたところで安心して自立した生活が続けられる地域社会の実現に寄与して参りました。

《　経営基本方針　》

３Ｓ（スリーエス）

ＳＭＩＬＥ	（スマイル）	笑顔にあふれたアットホームなサービスを提供します。
ＳＰＡＣＥ	（スペース）	快適な環境作りに努めます。
ＳＥＲＶＩＣＥ	（サービス）	利用者の立場になって生活を支援します。

《　経営施設・実施事業　》

Ⅰ．法人本部

横浜市市営住宅等生活援助員派遣事業

Ⅱ．特別養護老人ホーム夢の里（介護保険指定事業所番号　1470600121）

介護老人福祉施設

短期入所生活介護・介護予防短期入所生活介護

横浜市高齢者食事サービス事業

Ⅲ．横浜市岩崎地域ケアプラザ（介護保険指定事業所番号　1470600063・1490600019）

通所介護事業・介護予防通所介護

居宅介護支援事業

介護予防支援事業

地域包括支援事業

地域活動・交流事業

生活支援体制整備事業

Ⅳ．横浜市常盤台地域ケアプラザ（介護保険指定事業所番号　1470601400・1490600085・1490600093）

通所介護事業・介護予防通所介護

認知症対応型通所介護

居宅介護支援事業

介護予防支援

地域包括支援事業

地域活動・交流事業

生活支援体制整備事業

Ⅴ．横浜市保土ケ谷地域ケアプラザ開設準備室（令和５年３月～）

以上の基本理念、経営基本方針をもって、下記のことを推進いたしました。

記

★　事業項目

1）利用者へのサービス提供

①　自立と主体性を尊重し、利用者本位のサービスを目指しました。

②　集団生活という生活環境の中で、利用者一人ひとりの生活づくりに努めました。

③　役職員をはじめ、家族、親近者等が協同のパートナーとして利用者の援助に取り組みました。

④　利用者の心身両面の維持向上のため、必要な援助を絶えず追及していきました。

⑤　安全に継続的にサービス提供がなされるよう万が一に備え、日常的な防災予防を図るとともに、定期的な訓練等の実施により、防災対策に万全を期して参りました。

⑥　社会福祉施設の一つの重要な役割として、人材育成の観点から実習生や中学校の総合学習の一環としての介護体験、高校におけるインターシップ等の受け入れを実施して参りました。また見学者やボランティアにつきましても、引き続き積極的に受け入れて参りました。

2）地域福祉の推進

①　子供から高齢者まで、地域福祉の多様なニーズに応えられるよう総合福祉施設の機能を充実させ、子育て支援や在宅高齢者福祉の推進及び福祉教育等、地域福祉の拠点としての役割に努めました。

②　隣接法人である学校法人聖ヶ丘学園には、付属育和幼稚園及びひかりの風保育園が開園されております。新型コロナ感染予防により園児や学生との日常的な交流はありませんが、今後も法人が経営、運営する施設及び事業を積極的に活用して頂けるようにしてまいります。

③　施設、各種学校、地元自治会、民生委員、児童委員協議会、地区社会福祉協議会、老人クラブ及び各種学校等との交流を深めることに努めました。

④　災害非常時には災害弱者などに対する地域の緊急避難場所としての役割を果たせるよう、体制及び非常災害用備蓄を整えて参りました。

3）法令・規程規則等の遵守

役職員は社会福祉法人として求められている「社会的責任」「社会貢献」を自覚し、専門職として職務倫理を身につけ、法律及び関係法令等並びに法人定款、規程を理解しつつ遵守し、社会規範を尊重して日常の業務を適正に遂行して参りました。

★　中長期計画

施設系サービスや在宅系サービスが各施設の近くに多く設立されている現状において、法人経営を安定的また継続的に行うため、体制の整備及び制度設計を中期計画（平成２６年４月からの５年間）に位置づけ、実施いたしました。令和元年度から５年間の中期計画についても、ビジョン・内容等を大きく変えることなく、前中期計画で実現できなかったことを重点に実施して参りました。

長期計画（平成２６年４月からの１０年間・財務状況の安定化及び施設の修繕計画長期計画）についても、中間期として修繕・設備入替計画の見直し等を行い、残りの５年間の目標と計画を設定いたしました。

※ 中長期計画を策定するうえでの考え方

法人理念に基づき、

【誰もが】　⇒　ご利用者・地域・職員のすべて

【明るく・温もりを感じて生活できる】　⇒　にはどうするのか

項目	ビジョン	中期計画	長期計画
ご利用者様 地　　域	サービスの充実と サービス水準の向上	①　満足感のあるサービスを提供 ②　家族・地域住民の方が気楽に来所できる施設として、その地域のニーズに基づいた特色をつくる。 ③　利用者に合った施設・設備の提供 ④　職員スキルの向上	
職　　員	職員満足度の向上 ↓ サービス水準の向上	①　働き甲斐のある環境整備 ・安定した経営、組織、運営 ・多様な働き方への対応 ・現有施設のリフォーム ・安定した職員の確保 ②　組織 ・組織体制と役割分担の明確化 ・定期的な人事異動の実施 ・情報の開示 ・法令、規則遵守の推進 個人情報保護の意識向上の取組 ③　資質向上の機会の確保 ・研修計画の策定 研修体制の整備、実施 ・法人、施設内外の研修参加の推奨 ・人事考課制度の実施 ④　制度設計	
事　　業	新規事業の展開	保土ヶ谷駅東口に開設予定の地域ケアプラザへの対応	
資金計画	事業収入目標 ６億円 最終収支差額目標 収入の３％以上	①　余剰金を本部へ集約、資金の一元管理・確保し、余剰資金の効果的な利用を図る。（社会福祉充実残高への対応） ②　介護報酬改定されても事業収入６億円を確保するような事業の運営・展開及び・拡大を行う。 ③　年間１，０００万円を現有施設のリフォームへ	

夢の里修繕実施状況

1）設備更新

	設置年月	概算見積額	期間	備　考
ボイラー	開所時	8,880,000 円	中	
エレベーター	〃	25,000,000 円	長	
自動ドア	〃	850,000 円	長	
ナースコール	〃	5,600,000 円	長	
冷暖房設備（旧）	〃	11,000,000 円	中	H29～30 年度　実施済
クーリングタワー撤去	〃	3,850,000 円	長	
業務用洗濯脱水機	平成 7 年 9 月	2,200,000 円	長	R03 年度　実施済
業務用乾燥機	平成 6 年 7 月	2,200,000 円	長	R02 年度　実施済
機械浴槽	開所時	8,800,000 円	短	H28 年度　実施済
自家発電機（非常用）	〃	7,480,000 円	長	
合　　計		75,860,000 円		

2）リフォーム

	設置年月	概算見積額	期間	備　考
２Ｆリフォーム	開所時	30,855,000 円	中	
内）　クロス張替		6,435,000 円		
内）Ｐタイル張替		3,300,000 円		
内）　天井張替		2,970,000 円		
内）　ベッド入替		18,150,000 円		
ＬＥＤ改修工事	開所時	8,000,000 円	短	令和元年度　実施済
合　　計		38,855,000 円		

3）外観

	設置年月	概算見積額	期間	備　考
外壁躯体・タイル	開所時	12,412,000 円	中	横浜市補助事業対象予定（防水は除く）仮設・監督費・諸経費込み
シーリング工事	〃	7,900,000 円		
鉄部・外壁塗装	〃	9,000,000 円		
防水	H20 年 6 月	15,188,000 円		
合　　計		44,500,000 円		

修繕計画　合計　　１５９，２１５，０００円

内）実施済　実額　　２２，６３６，２８０円

修繕計画残額　　１２７，０１５，０００円

★ 横浜市保土ケ谷地域ケアプラザ

1）開所時期　　令和５年４月１日　開所予定

2）指定管理者応募について

令和４年　５月　６日　指定管理者応募書類提出

８月　４日　指定管理者応募にかかるプレゼンテーション

（石井理事長・町田所長・亀山課長　出席）

２９日　第一位指定候補者として選定

3）人事について

令和４年　９月２２日　石井理事長・関理事・佐瀬事務局長にて候補者（亀山貢氏）と面談

２８日　理事会開催。面談結果を受け、開設準備室長を亀山貢氏に決定

１１月　９日　法人内職員異動（案）提出。以後本部会議内にて検討。

１２月２７日　本部会議にて法人内職員異動（最終案）了承。

令和５年　２月１０日　人事異動社内通知書　発令

4）開設準備

令和４年１０月　１日付にて開設準備室長辞令　発令。

令和５年　３月　１日　開設準備室　保土ケ谷ｃｐ内にて開設。

２５日　開所式典　開催

★ 役職員報告

役職員の資質向上のため、自己啓発を促して行く事はもとより、各種研究会、研修会へ積極的に参加していくこととしておりましたが、新型コロナウィルス感染拡大予防の観点から、法人内外の研修会の中止や研修会参加の自粛をしてまいりました。新しい研修体制として、オンライン研修への参加申込を推奨していくとともに、感染予防を念頭に置きながら、研修体制の構築を下半期も図って参ります。

1）理事・監事

① 定　　数　　理事６名以上７名以下　　監事２名

② 任　　期　　令和５年６月　定時評議員会まで

③ 理 事 長　　石井　和男

④ 常務理事　　佐瀬　一裕

⑤ 理　　事　　関　寛　　瀬戸　謙一　　古城　高之　　町田　貴宏

⑥ 監　　事　　飯塚　忠孝

高澤　襄　（令和４年６月２１日　評議員会終了後まで）

荻原　信吾（令和４年６月２１日　評議員会終了後から）

⑦ 開催実績　　５月２０日　監事監査（令和３年度事業報告、決算報告）

２５日　事業報告、決算報告

８月２４日　四半期報告（書面決議）

９月２８日　人事について

１１月　９日　令和４年上半期事業報告及び決算報告

３月２２日　令和４年度第１回補正予算・令和５年度事業計画及び予算

２）評議員

① 定　　数　　７名以上８名以下

② 任　　期　　令和６年６月　定時評議員会まで

③ 評 議 員　　浅野　高嶺　　石川　源七　　中島　良行　　橋本　文伸　　廣田　智可子
　　原　正子　　渡邊　慶信

④ 開催実績　　６月２１日（定時）　事業報告、決算報告、人事　等
　　１１月１７日　　令和４年度上半期事業報告・決算報告（書面決議）

３）評議員選任・解任委員会

① 定　　数　　３名

② 任　　期　　令和６年６月　定時委員会まで

③ 委 員 長　　山口　和秀　：　委　　員　小川　浩之、荻原　信吾（監事兼務）

④ 開催実績　　９月２８日　評議委員選任解任委員の改選について・委員長選出について

４）法人本部会議の開催について

概ね月２回、通算１８回本部会議を開催し、主に法人、各施設及びサービスにおける運営や実績等の話し合いを行いました。

出席者：石井理事長、関理事、佐瀬事務局長、古城所長、瀬戸施設長、町田所長、
　　亀山準備室長（令和５年１月より）

令和４年	４月１３日	主な議題	令和４年度組織体制について
	２８日	〃	各施設事業報告・会計報告・保土ケ谷ｃｐ公募書類
	５月１１日	〃	保土ケ谷ｃｐについて
	６月　８日	〃	賞与及び人事考課について
	２２日	〃	各施設事業報告・会計報告
	７月１３日	〃	保土ケ谷ｃｐについて
	８月１０日	〃	保土ケ谷ｃｐについて・理事会について
	９月１４日	〃	保土ケ谷ｃｐについて 社会保険加入要件及び最低賃金の変更について
	１０月１２日	〃	保土ケ谷ｃｐ経過報告
	２７日	〃	各施設事業報告・会計報告、保土ケ谷ｃｐ経過報告
	１１月　９日	〃	保土ケ谷ｃｐ経過報告
	１２月１４日	〃	保土ケ谷ｃｐ経過報告
	２７日	〃	各施設事業報告・会計報告
	１月１１日	〃	保土ケ谷ｃｐ経過報告
	２５日	〃	保土ケ谷ｃｐ経過報告、各施設事業報告・会計報告
	２月　８日	〃	保土ケ谷ｃｐ経過報告
	２２日	〃	保土ケ谷ｃｐ経過報告、各施設事業報告・会計報告 常盤台ｃｐ第４期指定管理者公募申請について
	３月　８日	〃	保土ケ谷ｃｐ経過報告、理事会について

★ 令和４年度財務報告

１）目標

法人全体の収支状況の改善

高額寄付　故人　　１０，３４２，１７９円

物価高騰対策支援補助金

特別養護老人ホーム夢の里　　６，６００，０００円

横浜市岩崎地域ケアプラザ　　１，６８１，０００円

横浜市常盤台地域ケアプラザ　　１，２９０，０００円

２）改修・修繕報告（１００万円以上）

夢の里厨房床改修工事　見積額　１，５１８，０００円　未実施

３）固定資産及びリース物品購入報告（資産・負債計上するもののみ）

特別養護老人ホーム夢の里

ステンレス貯米庫　　１３３，１４４円

職員休憩室用エアコン　　１５４，５９０円

介護事業所支援システム・ＰＣハード等入替　８，４６２，２００円　※リース契約

横浜市岩崎地域ケアプラザ

バリアフリースケール　　２６１，２５０円

リフト浴用リフト　　４，８４０，０００円

横浜市常盤台地域ケアプラザ

介護事業所支援システム・サーバー入替　　６，９４３，２００円　※リース契約

４）建設時借入金償還状況

建　物	横浜市常盤台地域ケアプラザ				
借入先	独）福祉医療機構 借入年月日 （平成21年12月18日）		社福）横浜市社会福祉協議会 借入年月日 （平成21年9月4日）		合　計
内　訳	元　金	利　子	元　金	利　子	
貸付金額	20,000千円	3,320千円	40,000千円	-----	63,320千円
償還済額	12,000千円	2,744千円	24,000千円	-----	38,744千円
当期予定額	1,000千円	124千円	2,000千円	-----	3,124千円
残　額	7,000千円	452千円	14,000千円	-----	21,452千円
令和４年度 上半期 返済額	1,000千円 内）補助額 750千円 内）法人負担額 250千円	124千円 内）補助額 124千円 内）法人負担額 0千円	2,000千円 内）補助額 1,500千円 内）法人負担額 500千円	-----	3,124千円 内）補助額 2,374千円 内）法人負担額 750千円

★ 法人事務局

平成２６年度から各施設より独立した役割・機能、事務手続きの集約を進めております。また、夢の里の事務所兼務や生活援助員派遣事業、高齢者食事サービス事業など、多岐に渡り多くの業務を行っております。

この現状を踏まえ、現在のソフト及びハード面にて解決できる事務業務の効率化や事務職員への業務の配分・見直し等を検討、実施してまいります。

1）重点項目

① 働き方改革関連法への対応

２０１９年４月から施行される制度のうち、強制力を伴う罰則付き規制（時間外労働の上限規制の導入・年５日以上の年休取得の義務化）について対策・対応に努めていきます。

② 人事考課制度の実施

令和４年賞与について人事考課を実施いたしました。

上半期考課期間：令和３年１０月～令和４年３月まで　　賞与支給日：令和４年　６月１０日

下半期考課期間：令和４年　４月～令和４年９月まで　　賞与支給日：令和４年１２月１０日

本格的な実施・運用と平行し問題点等の抽出、検討を行い、より良い運用を目指します。

2）実施・担当事業

横浜市生活援助員派遣事業

高齢者自らが望む生活を実現するために、生活援助員の役割である　1．居住形態に配慮しながら、居住者のニーズに対し適切な機関につなげるコーディネート　2．関係機関・専門職、地域コミュニティとの連携。3．日常的に行う安否の確認・緊急対応　を行いながら、各住宅につき週２回づつ派遣し、居住者の状態像や住宅形態に応じて居住継続のサポートを行いました。

また、新型コロナウィルスの対応について引き続き援助員の体調に充分気をつけ、保健衛生物品（マスク・アルコール消毒液）が不足しないよう各相談室へ配布を行いつつ、事業を継続して参りました。ただし、安否確認時の自宅への訪問については、極力インターホン越しに声かけを行うなど、緊急時以外において援助員と入居者様の接触を控えるよう配慮し事業を行いました。令和４年度も引き続きワクチン接種にかかる相談が数多くよせられたため、横浜市からのワクチン情報を法人にて印刷し各住戸へその都度配布し、予約申込みのサポートを行いました。

住宅名	３月末世帯数	要介護状態	新入居 退　去	安否確認 延べ件数	相談 延べ件数
岩崎町住宅 対象戸数　27戸	二人世帯　　1戸 単身世帯　２３戸	要支援　２名 要介護　４名	2名	１，２４２件	３５件
ミカーサ横浜 対象戸数　21戸	二人世帯　　2戸 単身世帯　１７戸	要支援　２名 要介護　２名	5名	９８１件	７４件
ｼｬｲﾆﾝｸﾞ横浜 対象戸数　36戸	二人世帯　　0戸 単身世帯　３１戸	要支援　２名 要介護１０名	3名 4名	１，５８１件	８８件
ライブリーさくら 対象戸数　18個	二人世帯　　1戸 単身世帯　１５戸	要支援　１名 要介護　３名	3名	７２２件	１０９件
桜ヶ丘グリーンハイツ 対象戸数　30戸	二人世帯　　7戸 単身世帯　２３戸	要支援　４名 要介護　３名	2名	１，４１９件	１２４件

以　上

令和４年度　特別養護老人ホーム夢の里　事業報告書

Ⅰ．実施事業

・介護老人福祉施設　　定員　５７名　（平成３１年3月1日より５０名より変更）
・短期入所生活介護事業　　定員　　８名　（平成３１年3月1日より１５名より変更）
・高齢者食事サービス事業　　（横浜市委託事業）

Ⅱ．令和４年度事業報告

１．総括

（１）特養・短期入所の稼働率実績

令和４年度の稼働率といたしましては、９４．１%・６１．１５名（特養９６．７%・５５．１３名　短期入所７５．３%・６．０２名）となり、目標稼動率９８．５%・６４名（特養９９%・５６．５名　短期入所９３．３%・７．５名）を達成することが出来ませんでした。

特養につきましては、１５名の退所と１３名の入所がありました。上半期は、調査済み待機者が不足となり早急に対応いたしましたが、満床になるまでに３ヶ月を要したことも有り、下期は複数の方の入退所に対応できるよう調査業務を優先いたしました。しかしながら下期は毎月複数の入退所があり、満床での運営が困難な状況となりました。空床発生後の入所調整に時間を要したことも有りましたので、スムーズな入所案内、調整が出来るよう検討いたしました。来年度も、調査済み待機者への定期的な状況確認を行い、男女ともに２～３名の入所希望者を確保してまいります。また、入院者が増加傾向にある為、日頃よりご利用者様の健康管理観察を職員全体で行い、安心した生活が送れるよう対応してまいります。

短期入所につきましては、ロングショート利用者の本入所で利用中止となる方が複数名おり、また、７月には新型コロナウイルス感染者発生により受入停止したことも影響し、稼働実績が低下いたしました。ご利用者の新規の登録人数を増やすことと新規の利用者獲得の為、空床情報の提供は継続するとともに、緊急の依頼にも積極的に受け入れを行ってまいります。

（２）新型コロナウイルス感染症等に関する対応

新型コロナウイルス感染症の感染が広がる中、「高齢者施設における感染症対策マニュアル改訂版」に基づき感染予防に努めるとともに、令和２年２月より実施中の、面会制限・立入制限の実施、全職員出勤時・業者来所時の体温確認、手指消毒、マスクの着用、健康チェックを行い感染症持込予防対策を継続実施しております。

令和４年７月１９日にご利用者様１名の新型コロナウイルス感染が判明いたしました。施設協力医・保土ヶ谷区保健所の指導の下、蔓延防止対策を実施した結果、ご利用者様・職員への感染拡大なく７月３０日に収束いたしました。

職員に関しては、第７・８波流行中新型コロナウイルスへの感染・家族の感染等での濃厚接触者となった職員が複数名おり、感染・濃厚接触期間中は特別休暇といたしました。この期間中は厳しい勤務体制となりましたが、職員一丸となり必要なサービス提供を維持する事が出来ました。

令和５年３月１２日よりマスクの着用の義務化が解除となりましたが、高齢者施設等はマスクの着用を推奨するとなっております。施設としては現状の感染症予防対策は継続とし、ご家族様の面会制限、及びガウンの着用は解除することといたしました。

（3）新規加算の取得

新規　科学的介護推進体制加算（LIFE）の算定すべく準備中です。

（4）介護職員の人材確保と資質向上

受入の窓口である相談員を２名の常勤職員配置にすべく対応いたしましたが、5 月に１名が退職となり以降は１名の体制となりました。その後も職員採用努めた結果、１名の採用が決定しており、今年度１２月より２名体制にて運営することができました。

今年度の新卒者採用はありませんでしたが、介護職員２名(常勤)の中途採用をいたしました。退職者は１名（非常勤１名)、産前産後休業・育児休業取得者３名おり、今後も介護職員不足を解消する為に継続的な求人(学校求人・ハローワーク・新聞折込・電子媒体など)・紹介・派遣会社の活用を行ってまいります。

職員の資質向上を目的にした研修につきましては、昨年度同様に新型コロナウイルスの流行による感染予防対策として外部研修への参加を見合わせました。内部研修についても多数職員が参加となるため中止いたしました。研修による自己啓発も必要となるため下半期につきましては、ウエーブ研修を実施、外部研修については、ウエーブにて開催される研修は参加出来るよう体勢を構築してまいります。

２．行事等活動報告

（1）主な行事計画

安全で楽しく、またご家族様にも一緒に楽しんでいただける行事を計画いたしましたが、本年度は新型コロナウイルス感染予防のためご家族様の参加を中止し、納涼祭・敬老会・運動会を実施致しました。

季節ごとの行事を少しでも感じて頂けるよう、行事食を提供させていただきました。

４月　誕生会（２０日)・
５月　八十八夜（2日)・菖蒲湯（３４５日）端午の節句（5日)・誕生会（１８日）
６月　誕生会（１５日)
７月　七夕（7日)・誕生会（２０日)
８月　誕生会（１７日)・納涼祭（２２日)
９月　敬老祝賀会（１９日)・誕生会（２１日)
１０月　運動会（３０日)・誕生会（１９日)
１１月　常盤台北部自治会合同防災訓練中止（１３日）中止・誕生会（１６日)
１２月　誕生会&餅つき（２１日)・クリスマス会（２４日)・ゆず湯（２２～２４日)
１月　新年祝賀会（1日)・七草粥（7日)・鏡開き、お汁粉（１１日）誕生会（１８日)
２月　節分（3日)・誕生会（１５日)
３月　ひな祭り（3日)・誕生会（１５日)

（2）クラブ活動

お楽しみクラブ　お茶会(おやつを兼ねて)　１２月１２日　１１名参加

（3）地域交流及びボランティア

本年度は新型コロナウイルス感染予防のため、ボランティア活動は中止といたしました。

＜ 聖ヶ丘学園 ＞

今年度より聖ヶ丘教育福祉専門学校専攻科の廃止に伴い実習の受入は中止となりました。

＜ 育和幼稚園 ＞

１１月予定の交流会は新型コロナウイルス感染予防のため中止といたしました。

＜ ひかりの風保育園 ＞

例年は、散歩の途中で窓越しに手を振り合うなどの交流を行ってまいりましたが、本年度は新型コロナウイルス感染予防のため園児の外出自粛もあり交流はありませんでした。

＜中学校体験学習＞

本年度は新型コロナウイルス感染予防のため中止となりました。

＜ 大学生教員免許取得の為の実習受入＞

本年度は新型コロナウイルス感染予防のため受入を中止といたしました。

＜横浜市新任職員福祉活動実習受入＞

本年度は新型コロナウイルス感染予防のため横浜市より依頼の辞退がありました。

＜ボランティアの受け入れ＞

本年度は新型コロナウイルス感染予防のため受入を中止といたしました。

＜夏休みボランティア体験（ちょいボラ）＞

本年度は新型コロナウイルス感染予防のため受入を中止といたしました。

＜介護相談員派遣事業受け入れ＞

毎年、区役所より派遣された介護相談員２名により、入居されている方・ご家族様からサービスに関する疑問・不満等を聴取していただき、施設との橋渡しを行って頂いておりますが、本年度も新型コロナウイルス感染予防のため活動を休止しております。

＜家族会＞

新型コロナウイルス感染予防のため中止といたしました。

役員会については２回開催し近況報告を行いました。

＜部屋貸し＞

新型コロナウイルス感染予防のため中止といたしました。

３．医務

（1）健康管理

ご利用者様の個々のニーズに的確に関わる看護を目指し、嘱託医と協力し、介護度が改善・安定できるような看護を目指すため、以下の取り組みを行いました。

1　看護と介護の連携を密に協力し、２４時間態勢にて生活の援助に努めました。

2　体調の変化に常に重点をおき、急変時のバイタル測定、主治医への報告、処方薬の服薬介助など的確な対応をいたしました。

3　必要時の受診の対応、援助をいたしました。

4　６月の老人健診は新型コロナウイルス感染症予防対策を行い実施いたしました。

5　体調の変化の目安とするため、毎月体重測定と毎週血圧の測定を行いました。

6　１０月から１１月にご利用者様及び職員へインフルエンザの予防接種を行いました。

7　新型コロナウイルスワクチン接種を行いました。４回目(７月)・５回目(１２月)

（2）感染症・食中毒防止

１年を通じて、感染症や食中毒の予防及び万一の発生時には蔓延の防止に取り組みました。

新型コロナウイルス感染症に関しましては、令和４年７月１９日にご利用者様１名の新型コロナウイルス感染が判明いたしましたが、蔓延防止対策を実施した結果ご利用者様・職員への感染拡大なく７月３０日に収束いたしました。今後も新型コロナウイルス対策に取り組みます。

１　インフルエンザ対策

ご利用者様及び職員に対して嘱託医と協力し、１０月にご利用者様・職員に予防接種を実施いたしました。また、１１月より手洗い、うがい等の啓蒙、施設入り口には来所者用のマスクとアルコール消毒液を常備し予防策の援助を行いました。また、職員の出勤時に体温測定を実施し体調チェック表への記入をする事により自己の体調管理及び啓発を行いました。

１０月～３月の期間は、全居室での加湿器の使用と、カウンター前の加湿器及びインフルエンザ感染者専用部屋の加湿器には塩素系の消毒液を入れ対応いたしました。

インフルエンザまん延予防対策として、施設内でインフルエンザ罹患者が確認された場合は、ご利用者様及び職員に対して予防与薬を７日間服用することと継続いたしました。

職員の同居家族で罹患者が発生した場合も、施設内への蔓延予防対策として予防予薬を実施いたしました。

２　ノロウィルス対策

看護、介護、栄養士及び調理師がお互いに協力し、ノロウィルスの発生が多い１０月～３月まで、使用した食器を塩素消毒する等の予防対策を実施しました。また、万一嘔吐や下痢、発熱などの症状のあるご利用者様がでた場合のために、汚物処理の方法や施設内の消毒方法などの研修を全職員対象に実施し、まん延予防対策の徹底も図りました。

３　新型コロナウイルス対策

新型コロナウイルス感染症の感染が広がる中、「高齢者施設における感染症対策マニュアル改訂版」に基づき感染予防に努めるとともに、令和２年２月より実施中の、面会制限・立入制限の実施、全職員出勤時・業者来所時の体温確認、手指消毒、マスクの着用、健康チェックを行い感染症持込予防対策を継続実施しております。

感染症対策で使用する物品（マスク・グローブ・消毒用アルコール・ガウン）は通常時より在庫を増やし感染症対策が行なえるよう対応しています。また、横浜市より支給された抗原検査　キットを、施設内での検査にて使用するほか、発熱時等自宅で検査が実施できるよう、全職員にも配布いたしました。

ご利用者様への対応として、1）熱発者は施設協力医の判断によりPCR検査を迅速に実施　2）病院からの退院者は、１～２週間程度のカーテン隔離対応　3）短期入所ご利用者様より新型コロナウイルスの施設へ持ち込みがないよう、入所前の検温体調確認の協力依頼等の対応をいたしました。

令和５年３月１２日よりマスクの着用の義務化が解除となりましたが、高齢者施設としては現状の感染症予防対策は継続とし、ご家族様の面会制限・ガウンの着用は解除いたしました。今後２類から５類への変更予定もあります、国、横浜市からの通知を確認しながら次年度も感染予防対策を検討してまいります。

（3）褥瘡対策

褥瘡はご利用者様にとって身体的、精神的にとても負担の大きいものです。褥瘡ゼロを目指し嘱託医、看護、介護、栄養士及び調理師がお互いに協力し褥瘡予防を積極的に取り組みました。また、数件ですが初期状態の発赤・表皮剥離の発症がありましたが、主治医との連携のもと、体位交換皮膚の清潔保持や栄養管理など的確な処置により早期治癒いたしました。全利用者様を３グループに分け３月に一回調査を行い多職種で状況確認を行いました。

（4）ＡＤＬ向上に向けて

嚥下体操、口腔ケア、リハビリなど個人にあったケアをとり入れて継続的に実施いたしました。

昼食前またはおやつの前後に、身体機能の維持を目的に看護師を中心に実施いたしました。

（5）感染症・食中毒施設内研修実績

令和４年7月１９日　新型コロナウイルス・ノロ対応蔓延予防等研修　・　実技研修

4．厨房

（1）食事管理

ご利用者様の個々の状態に合わせた食事の形態や適正なカロリー、栄養バランスのとれた食事を提供するとともに、美味しく安全な食事を提供いたしました。

嚥下困難な方へのトロミ剤の使用方法及び適正な濃度について統一濃度で提供できる体制を整え職員への周知を行い、ご利用者様に合わせたトロミ形態で提供を行いました。

（2）行事食

その月の行事や季節の催し物に因んだ行事食や月１回の誕生会の昼食を行事食とし美味しくまた、見た目にも楽しめる食事を提供いたしました。

5．横浜市高齢者食事サービス事業

食事サービス事業を通して、居宅生活者の安全と安心を見守り、併せて、食生活の改善を促進し健康な生活をサポートいたしました。令和４年度実績は前年度と比べ３２９食の減少、１日平均でも１２．５個（前年度１３．５個　１日平均△１．０個）となりました。令和４年度につきましては、入退院の間などの一時的なご利用の方（スポット利用）を積極的に受け入れた結果、新規ご利用者様数は２５名と例年より１０名ほど多くなりました。反面中止となったご利用者様も例年より多く２８名となり、年間通じて配達個数の増にはつながりませんでした。引き続き通常事業の営業に加え、スポット利用や横浜市の補助対象を外れた方へのサービス開発を検討していくとともに、高齢者以外の重度障害者への範囲拡大などを実施し、配達個数が増加できるよう事業展開をしてまいります。

食事サービス事業としましてはコロナ禍の元、在宅高齢者の食事確保及び安否確認については、とても重要な事と考えて事業を行ってまいりました。これからも個々の事情に即した事業運営に努めるとともに、夕食の配達員を２名から１名体制の継続など経費削減を進め、引き続きより多くのご利用者様にサービス提供できるよう、事業を実施してまいります。

令和４年度配達実施地域

保土ヶ谷区：常盤台、峰沢町、岡沢町、鎌谷町、宮田町、岩間町、西久保町（ＪＲ線以北のみ）、神戸町、天王町、川辺町、和田町、釜台町、上星川町、峰岡町、星川町、桜ヶ丘月見台、霞台、帷子町、岩崎町　明神台

神奈川区　：羽沢南

６．防災・防火

１利用者・職員及び地元自治会の人命安全、被害防止のため防災計画・地元自治会との防災協定及び特定避難場所の協定に基づいた非常災害対策の適切な実施を今後も継続してまいります。

・非常災害時の緊急連絡網、関係機関への通報及び連携体制構築の確認。

・職員に対する防災計画及び連絡体制の周知。

・消防設備点検　依頼業者により年２回　４月・１０月に実施いたしました。
　　自主点検は年２回　７月・１月に担当職員にて実施いたしました。

・新任（現任）職員対象に消防計画の説明及び消火設備・放水訓練を実施いたしました。
　　１１月２８日　　参加者　新任職員　１名

・避難訓練を年２回実施いたしました。
　　１月２３日　昼間想定　通報・消火・避難誘導訓練・新任職員研修
　　３月２７日　夜間想定　地震対応・通報・消火・避難誘導訓練・新任職員研修
　　常盤台北部自治会合同防災訓練は新型コロナ感染予防の為中止いたしました。

・非常食の備蓄　　９００食（１００名×３食×３日分）
　　夢の里利用者分として６５名分の非常食３日分備蓄しています。
　　夢の里職員分として１５名分の非常食３日分備蓄しています。
　　特定避難場所として２０名分の非常食３日分備蓄しています。

・消防署　査察関係
　　消防・警防査察　　今年度実施なし

２火災対策として、以下の火災予防策・防火安全体制の再確認、指導の徹底をして参ります。

・喫煙等の火気管理の徹底。

・暖房機器や厨房機器等の火気使用設備・器具の管理。

・階段、通路などの避難経路及び防火戸、防火区画の管理。

・寝具・布張り家具（ソファー等）に防炎性能及び着火防止性能を有する製品の使用。

Ⅲ. 令和４年度稼動実績

① 施設サービス稼動実績　　単位：人　稼働率：％

			4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
特養	定員		1,710	1,767	1,710	1,767	1,767	1,710	1,767	1,710	1,767	1,767	1,596	1,767
	利用人数	延べ	1,647	1,722	1,609	1,736	1,749	1,681	1,753	1,631	1,687	1,689	1,539	1,679
		空床利用	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	合　計		1,647	1,722	1,609	1,736	1,749	1,681	1,753	1,631	1,687	1,689	1,539	1,679
	稼動率		96.3	97.5	94.1	98.2	99.0	98.3	99.2	95.4	95.5	95.6	96.4	95.0
	日平均		54.90	55.55	53.63	56.00	56.42	56.03	56.55	54.37	54.42	54.48	54.96	54.16
短期	定　員		240	248	240	248	248	240	248	240	248	248	224	248
	利用人数	延べ	161	164	153	136	147	219	211	194	216	223	178	196
		予防	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		自費	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	合　計		161	164	153	136	147	219	211	194	216	223	178	196
	稼動率		67.1	66.1	63.8	54.8	59.3	91.3	85.1	80.8	87.1	89.9	79.5	79.0
	日平均		5.37	5.29	5.10	4.39	4.74	7.30	6.81	6.47	6.97	7.19	6.36	6.32
利用総計			1,808	1,886	1,762	1,872	1,896	1,900	1,964	1,825	1,903	1,912	1,717	1,875
総計稼動率			92.7	93.6	90.4	92.9	94.1	97.4	97.5	93.6	94.4	94.9	94.3	93.1
日平均			60.27	60.84	58.73	60.39	61.16	63.33	63.35	60.83	61.39	61.68	61.32	60.48

		実績人数		満床人数			
※令和４年度	稼動率	（全体）	２２，３２０	÷	２３，７２５名＝	９４．１％	６１．１５名
		（特養）	２０，１２２	÷	２０，８０５名＝	９６．７％	５５．１３名
		（短期）	２，１９８	÷	２，９２０名＝	７５．３％	６．０２名

参考　令和３年度実績

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
特養　人数	1,644	1,670	1,583	1,707	1,739	1,692	1,756	1,638	1,696	1,665	1,494	1,709
稼動率	96.1	94.5	92.6	96.6	98.4	98.9	99.4	95.8	96.0	94.2	93.6	96.7
	54.80	53.87	52.77	55.06	56.10	56.40	56.65	54.60	54.71	53.71	53.36	55.13
短期　人数	198	184	237	233	236	238	234	217	225	234	208	194
稼働率	82.5	74.2	98.8	94.0	95.2	99.2	94.4	90.4	90.7	94.4	92.9	78.2
	6.60	5.94	7.90	7.52	7.61	7.93	7.55	7.23	7.26	7.55	7.43	6.26
利用者　総計	1,842	1,854	1,820	1,940	1,975	1,930	1,990	1,855	1,921	1,899	1,702	1,903
総計　稼働率	94.5	92.0	93.3	96.3	98.0	99.0	98.8	95.1	95.3	94.2	93.5	94.4
	61.40	59.81	60.67	62.58	63.71	64.33	64.19	61.83	61.97	61.26	60.79	61.39

※　令和３年度　　稼動率　（全体）９５．４％　６２．００名

（特養）９６．１％　５４．７８名（短期）９０．３％　７．２３名

② 入所状況 （ 令和４年度 月別集計 ） 単位：人

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
入所	男	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	2
	女	0	0	3	0	0	1	1	1	0	3	1	1	11
合計		0	0	3	0	0	1	1	1	2	3	1	1	13

※ 入所前状況

在宅からの入所 ５ 名 老人保健施設入所者 ７ 名

病院からの入所 １ 名

※ 入所待機者状況

３月現在 ９５ 名 （男性 ５１名 女性 ４４名 ）

③ 退所状況 （ 令和４年度 月別集計 ） 単位：人

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
退所	男	0	0	0	0	0	0	1	1	0	0	0	2	4
	女	1	1	1	0	0	2	0	1	2	3	0	0	11
合計		1	1	1	0	0	2	1	2	2	3	0	2	15

※ 医療機関への入院 ２ 名 施設での看取り １３ 名

④ 介護度状況（ 令和５年３月３１日 現在 ） 単位：人

		介護 1	介護 2	介護 3	介護 4	介護 5	合計
介護度	男	0	0	4	7	3	14
	女	0	1	4	18	18	41
合計		0	1	8	26	22	55
割合		0%	2%	15%	45%	38%	

※ 平均介護度 全体 ４．２０ 男性 ３．９３ 女性 ４．２９

⑤ 年齢状況 （ 令和５年３月３１日 現在 ） 単位：人

		～64	65～69	70～74	75～79	80～84	85～89	90～94	95～99	100以上	合計
年齢	男	1	3	1	1	2	3	3	0	0	14
	女	1	0	1	3	7	10	12	6	1	41
合計		2	3	2	4	9	13	15	6	1	55

※ 平均年齢 全体 ８５．５１ 歳 男性 ７９．１４ 歳

女性 ８７．６８ 歳

⑥高齢者食事サービス稼動実績　　単位：人

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
昼食	食数	80	86	93	77	77	101	104	92	90	82	80	89
	平均	2.6	2.7	3.1	2.4	2.4	3.3	3.3	3.0	3.0	2.9	2.8	2.8
夕食	食数	345	354	376	319	294	274	274	237	254	236	250	290
	平均	11.5	11.4	12.5	10.2	9.9	9.1	8.8	7.9	8.2	8.4	8.9	9.4
合計	食数	425	440	469	396	371	375	378	329	344	318	330	379
	平均	14.1	14.1	15.6	12.6	11.8	12.4	12.1	10.9	11.2	11.3	11.7	12.2
昨年	食数	389	418	409	423	418	439	483	434	401	355	338	376
	平均	12.9	13.4	13.5	13.5	13.4	14.6	15.5	14.4	13.0	12.7	12.0	12.1

※　令和　3年度　平均　　４，８８３食÷３６２日＝ １３．５食

※　令和　4年度　平均　　２，５５４食÷３６２日＝ １２．５食

Ⅱ．医務

① 来受診状況　（　令和４年度　月別集計　）　　単位：人

	内科	外科	整形外科	歯科（往診含）	眼科	皮膚科	脳外科	精神科	その他	合計
4月	4	0	3	34	0	15	2	15	3	76
5月	7	0	4	33	0	15	2	15	3	79
6月	7	1	2	36	1	10	1	13	3	74
7月	1	1	1	18	2	0	0	7	1	31
8月	3	1	0	38	1	10	0	26	2	81
9月	6	0	2	45	0	11	0	16	10	90
10月	4	0	2	36	0	11	0	14	1	68
11月	1	0	0	28	0	11	1	16	12	69
12月	4	2	0	37	0	12	0	15	1	71
1月	7	1	3	38	1	15	0	17	0	82
2月	9	0	0	38	0	15	0	18	1	81
3月	7	1	0	45	1	9	0	16	3	82
合　計	60	7	17	426	6	134	6	189	41	883

② 人健診及び職員検診の実施

老人健診　　令和４年　６月１０日に実施。　５６名（本入所５３名　短期入所３名）

職員健診　　令和４年　６月１０日に実施　　１０名（夜勤対応職員対象１０名）

　　令和４年１１月１１日に実施　　５１名（全職員対象）

新型コロナワクチン予防接種　（４回目）

７月実施　入所者　３６名　　職員　９名　接種可能日以降に順次実施します。

ｲﾝﾌﾙｴﾝｻﾞ 予防接種　　令和４年１０月１８日～１２月に実施　１００名（入所者６０名　職員４０名）

③　入退院状況　（　令和４年度　月別集計　）（入退院日は日数から除く）　　単位：人

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
入院	２	０	３	０	０	０	１	１	０	０	１	３	１１
退院	０	２	２	０	１	０	１	０	１	０	０	２	９
延べ日数	３９	１６	４９	３１	１９	０	８	２０	２２	０	１１	６６	２８１
昨年	０	０	４１	４１	１１	０	０	０	２６	２８	０	０	１４７

III. 厨房

①行事食

	行事食（昼食・おやつ）メニュー
４月	20日　誕生会
５月	1日　開所記念　2日　八十八夜　・　５日端午の節句　・　18日　誕生会
６月	15日　誕生会
７月	７日　七夕　・　20日　誕生会　・　23日　土用の丑
８月	17日　誕生会　・　22日　お祭り献立
９月	19日　敬老会・21日　誕生会　・　10日　十五夜　・　23日　彼岸おはぎ
１０月	19日 誕生会・30日運動会
１１月	16日 誕生会
１２月	21日 誕生会&餅つき　・22日冬至　・24日 クリスマス　・31日 年越しそば
１月	1日 新年祝賀会　・7日 七草粥　・11日 鏡開き　・15日 小正月　・18日 誕生会　・31日 晦日正月
２月	3日 節分　・　14日 バレンタイン　・　15日 誕生会
３月	3日 ひなまつり　・　15日 誕生会　・　21日 春分の日

以上

令和4年度 横浜市岩崎地域ケアプラザ事業報告

＜基本理念＞

(1)地域における市民の自主的な福祉活動、保健活動等のための場を提供し、市民の誰もが日常的に相互に支えあい、住み慣れたところで安心して自立した生活が続けられる地域社会の実現に資する。

(2)地域住民の方が、生活に関する相談全般について「まずプラザで相談してみよう。」と思われる施設となりたい。

＜運営方針＞

(1)利用者を主体としたサービスの提供と生活支援。

(2)快適な環境作り。

(3)笑顔のもと明るくてきぱきとした応対。

(4)地域福祉の拠点となるため、自治会・ボランティア団体・学校・社会福祉協議会等との連携、協力をすすめる。

(5)地域住民をはじめとした実習生、介護体験、見学者、ボランティアの受け入れを通じて当施設の理解の増進および人材育成の役割を担います。

＜施設全体としての～振り返り～＞

(1)横浜型地域包括ケアシステムの実現に向けた、多職種の協働による個別ケースの地域ケア会議の実施と地域包括地域ケア会議の実施による地域課題の把握と新たな社会資源の創設に取り組みました。

(2)地域の乳幼児から高齢者等に対して、総合相談・支援事業の実施をはじめ、各関係機関との支援ネットワーク構築や関係団体との連携強化、協働作業等の環境づくりを積極的に推進することに努めました。

(3)地域支えあい推進として、地域のインフォーマルサービスの整備と新たな自主事業を展開し、様々な担い手づくり、子育て支援の環境づくり、地域資源の活用に取り組みました。

(4)地域にケアプラザを再周知すると共に、必要な情報が届けられるよう、様々な媒体の取組みを実施し必要な人に的確に支援が届くよう地域との連携・協議の場を拡充し福祉保健活動拠点としての役割に努めました。

(5)人材不足の課題解決に向け、地域福祉を推進するための環境づくりや課題解決へ向けた人材確保と育成を図り職員がやりがいをもって業務を行うことができるよう、今まで以上に職場環境の改善に努めました。

(6)今後、ますますケアプラザ機能に求められる業務拡大の対応として、ケアプラザ内での協働・密接な連携が図れる組織体制の構築と機能強化を図り、特に職種間連携に努めました。

(7)新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止に向けた正しい認識をもつとともに、感染症対策マニュアルを通して日頃の備え、感染防止の基本等を含めた共通理解に取り組みました。

＜令和5年度に向けた課題＞

(1)横浜型地域包括ｹｱｼｽﾃﾑの構築に向けた保土ケ谷区ｱｸｼｮﾝﾌﾟﾗﾝの推進と社会資源の創設に努めます。

(2)引き続き関係団体との連携強化、協働作業等の環境作りを積極的に推進していきます。

(3)様々な世代へ新たな自主事業を展開し、担い手の発掘と地域資源の活用を進めていきます。

(4)福祉保健活動拠点として地域へ必要な支援が充分に届けられるよう役割を拡充していきます。

(5)全職員が働きやい労働環境整備と人材確保に努めていきます。

(6)組織体制のさらなる強化と個々のスキルアップを図っていきます。

(7)新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止に向けた正しい認識をもつとともに、感染症対策マニュアルを通して日頃の備え、感染防止の基本等を含めた共通理解に取り組んでいきます。

(8)新型コロナウイルス感染症の対策をしながら、地域コミュニティのつながりを保ち続けるために、様々な取り組み、できる範囲での活動を継続していきます。

Ⅰ．地域包括支援事業　事業報告

令和5年3月末現在

地域包括支援センターは、高齢者の皆様が住み慣れた地域でいつまでも充実した毎日を過ごして頂くために総合的な相談・支援を行う機関であり、3職種・介護予防プランナーにてお互いに連携して日常生活の支援や様々な相談に応じています。 事業内容は総合相談支援・権利擁護，包括的・継続的ケアマネジメント，介護予防ケアマネジメント，自主事業を実施している。
各事業毎の実績は以下の通りである。

1. 総合相談・支援事業　(令和4年4月～令和5年3月末日迄の実績)

地域の高齢者等に対して面接，電話等による相談を実施し、必要な支援内容を把握するとともに、地域における適切な機関，制度，サービスの利用に繋げる等の支援を行うほか、相談者からの依頼を受けて必要がある場合に、相談者の自宅等を訪問し、安否確認，情報提供，各種福祉保健サービスの申請受付等に努めている。

相談事業実績　　合計　1295　件　　前年度(3月末日)　925　件

利用方法別

分類		手段			時間帯	
新規	継続	面接	電話	FAX・その他	9～17	17～21
600	695	123	1163	9	1274	21
合計　1295　件		合計　1295　件			合計　1295　件	

対象者別　　合計　1295　件

65歳以上					40～64歳	
自立	事業対象者	要支援	要介護	その他	要支援・要介護	その他
10	0	370	255	614	16	30

相談者別　　合計　1645　件（重複有り）

本人	家族	地域住民	サービス事業者	施設・医療	区役所	区社協	他のケアプラザ	その他
198	740	103	216	285	78	0	11	14

相談内容別　　合計　2001　件（重複有り）

介護保険	介護予防事業	包括支援事業	行政サービス	インフォーマルサービス	介護医療	施設入所入院	日常生活課題	苦情	成年後見	虐待	その他
1091	244	0	10	22	176	33	312	10	22	15	66

訪問事業実績　　合計　379　件　　前年度(3月末日)　431　件

利用方法別

分類		訪問先			時間帯	
新規	継続	家庭	病院・施設	その他	9～17	17～21
28	351	－	－	－	374	5
合計　379　件		合計　0　件			合計　379　件	

対象者別　　合計　379　件

65歳以上					40～64歳	
自立	事業対象者	要支援	要介護	その他	要支援・要介護	その他
2	0	114	70	185	4	4

援助内容別　　合計　557　件（重複有り）

安否確認状況確認	介護・保健等指導助言	申請受付		他機関等とのサービス調整	情報提供	その他
		介護保険	行政サービス			
16	55	126	3	218	107	32

2. 地域ケア会議 (令和4年4月～令和5年3月末日迄の実績)

多職種による個別事例の検討を通じ、高齢者の自立に資するケアプランにつなげていくとともに、個別事例の検討を積み重ねることにで、地域課題を発見し、新たな資源開発につなげていく。

個別地域ケア会議 (令和4年4月～令和5年3月末日迄の実績)

開催月	内　　容	参加人数
5月12日	個別ケース「SOSを出すことが難しい父親と息子の支援」	13人
合計	1回	13人

3. 権利擁護事業 (令和4年4月～令和5年3月末日迄の実績)

福祉保健関係者とのネットワークを構築し、支援を要する方を早期発見し相談に繋げられるように体制を整備すると共に、研修に参加し業務遂行に必要な実践的知識・情報の習得に努めている。また、地域の方へ情報を提供している。

認知症連絡会・虐待担当者会議(保土ヶ谷区)

開催月	内　　容	参加人数
5月13日	認知症担当者部会(区、包括、区社協)	13人
7月8日	認知症担当者部会(区、包括、区社協)	13人
7月12日	成年後見サポートネット事務局打合せ(区、包括社福)	10人
9月9日	認知症担当者部会(区、包括、区社協)	13人
11月11日	認知症担当者部会(区、包括、区社協)	12人
10月11日	成年後見サポートネット事務局打合せ(区、包括社福、区社協)	8人
11月18日	市民後見サポートネット	30人
11月30日	成年後見サポートネット事務局打合せ(区、包括社福、区社協、市社協)	10人
12月15日	成年後見サポートネット専門職会議・全体会	21人
12月22日	高齢者虐待防止事業　関係機関連絡会	12人
1月13日	認知症担当者部会(区、包括、区社協)	15人
1月26日	保土ケ谷区認知症高齢者等SOSネットワーク連絡会	30人
1月24日	成年後見サポートネット事務局打合せ(区、包括社福、区社協、市社協)	10人
2月13日	令和4年度訪問開度・訪問看護事業所向け高齢者虐待防止研修	30人
2月27日	成年後見サポートネット事務局打合せ(区、包括社福、区社協、市社協)	10人
3月10日	認知症担当者部会(区、包括、区社協)	14人
3月8日	成年後見サポートネット専門職会議	18人
合計	17回	269人

認知症・権利擁護関係研修

職員が研修に参加し業務遂行に必要な実践的知識・情報の習得に努めている。

開催月	内　　容	参加人数
6月6日	令和4年度在宅高齢者虐待防止事業　基礎研修(対応編)	1人
7月11日	後見開始等申立書統一書式の説明会	1人
7月20日	令和4年度在宅高齢者虐待防止事業　基礎研修(法律編)	1人
10月14日	令和4年度区役所・包括職員向け高齢者虐待防止事業　基礎研修	2人
合計	4回	5人

権利擁護講座・相談会

事業所、地域の方への情報提供、普及啓発、利用促進のための事業。

開催月	内　　容	参加人数
4月21日	もくようびのすまいる「おひとりさまの知恵袋～入院編～」	2人
4月21日	もくようびのすまいる　相続・遺言・後見の相談会　個別相談会	1人
6月16日	もくようびのすまいる「おひとりさまの知恵袋～施設編～」	5人
6月29日	権利擁護相談(出張個別相談会)	1人
7月27日	権利擁護相談(出張個別相談会)	1人
8月18日	もくようびのすまいる「おひとりさまの知恵袋～葬儀編～」	2人
8月18日	権利擁護相談(出張個別相談会)	2人

10月20日	権利擁護相談(出張個別相談会)	2人
12月25日	権利擁護相談(出張個別相談会)	2人
1月19日	権利擁護相談(出張個別相談会)	1人
2月16日	権利擁護相談(出張個別相談会)	2人
合計	11回	21人

介護者のつどい

地域の方々を対象に介護に関する情報提供や医療に関する勉強会を開催し在宅生活の安定を図る。

開催月	内　　容	参加人数
4月21日	もくようびのすまいる	7人
6月16日	もくようびのすまいる	10人
8月18日	もくようびのすまいる	4人
10月20日	もくようびのすまいる	11人
12月15日	もくようびのすまいる	11人
2月16日	もくようびのすまいる	11人
合計	6回	54人

4. 包括的・継続的ケアマネジメント事業 (令和4年4月～令和5年3月末日迄の実績)

地域における包括ケア体制の構築のために地域の介護支援専門員を対象とした専門家との相談会、研修会・意見交換会(ケアマネ連絡会，合同ケアマネ連絡会、地域ケア会議)を実施している。
また、地域の方々へ情報発信とは別に介護・医療セミナーを開催している。

ケアマネ連絡会

開催月	内　　容	参加人数
4月20日	区内7包括合同ケアマネ連絡会「事例検討会～がん末期の方の自己決定支援について」	33人
5月18日	区内7包括合同ケアマネ連絡会「聴こえと補聴器について」	30人
6月16日	区内7包括合同ケアマネ連絡会「パーキンソン病～症状の変化等について」	65人
7月27日	ほどがやケアマネット令和4年度第1回研修会「管理者サミット(ケアプラン様式変更について)」	29人
9月21日	区内7包括合同ケアマネ連絡会「課題整理総括表について」	30人
11月16日	区内7包括合同ケアマネ連絡会「ケアマネジャーとリスクマネジメント」	40人
11月17日	保土ケ谷区多職種連携会議全体会「新しい連携が始まる」	69人
12月15日	区内7包括合同主任ケアマネ連絡会「ファシリテーション研修」	15人
12月21日	区内7包括合同ケアマネ連絡会「家族支援を考える～中高年のひきこもり～」	33人
1月18日	区内7包括合同ケアマネ連絡会「介護予防・介護予防ケアマネジメント伝達研修」	38人
2月15日	区内7包括合同ケアマネ連絡会「心の病気の理解と支援者の関わり方について」	41人
合計	11回	423人

サービス担当者会議の開催支援や抱えている困難事例等への相談支援の実施。また新任・就労予定のケアマネジャーが円滑に業務が進められるよう、区単位で実習の受入調整・支援を実施している。

ケアマネジャー相談支援

	相談件数	相談内容														申し										
		介護保険制度 政サービス情報関連 行	地域情報関連	ケアプランの作成・内容等	支援困難事例への内訳											制度・行政サービス等の説明・情報提供	地域情報の提供	ケアプラン・ケアマネジメントの 助言・指導	対応・他機関との調整						同行訪問	その他
					認知症	精神疾患	ターミナル	医療的支援	独居・高齢世帯介護力不足	サービス・支援拒否	家族の対応・支援	経済的問題	虐待	成年後見制度・被害者 消費	その他				居宅サービス事業者等	インフォーマルサービス	在宅医療連携拠点（在宅医療相談室）	施設・医療機関	区役所	その他		
4月	16人	0	0	11	3	2	0	0	2	1	1	1	1	1	0	3	0	11	1	0	0	0	1	0	0	4

5月	22人	1	0	13	3	0	0	0	1	1	2	0	0	3	3	5	0	15	0	0	0	0	1	0	1	7
6月	14人	0	0	10	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	1	1	0	8	3	0	0	0	0	1	4	2
7月	13人	1	0	7	0	1	0	0	0	1	2	0	0	2	1	2	0	7	1	0	0	0	4	0	1	1
8月	17人	3	0	10	2	0	0	0	0	0	0	0	0	1	3	2	0	11	3	0	0	0	1	0	0	5
9月	10人	1	0	7	3	0	0	0	1	1	0	0	0	0	3	1	0	6	2	0	0	0	1	0	3	4
10月	19人	2	0	11	0	0	0	0	0	0	1	0	1	2	2	2	0	11	1	0	0	0	1	1	7	0
11月	10人	1	0	3	1	1	0	0	0	0	3	0	2	0	1	2	0	2	2	0	0	0	2	0	4	1
12月	17人	1	0	6	2	0	0	0	0	3	2	0	2	0	2	0	0	5	7	0	0	0	5	1	6	1
1月	6人	2	0	6	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	6	1	0	0	0	1	0	0	0
2月	10人	1	0	4	2	0	0	0	3	0	0	2	0	0	0	1	0	4	0	0	0	0	2	0	5	2
3月	5人	0	0	4	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1	0	4	2	0	0	0	0	0	0	0
合計	159人	13人	0人	92人	16人	4人	0人	1人	7人	7人	11人	3人	7人	10人	16人	21人	0人	90人	23人	0人	0人	0人	19人	3人	31人	27人

新任・就労予定ケアマネジャー研修

	内　　容	参加人数
第1日目	行政サービス・かるがもの会・あんしんセンター・予防プラン・生活保護・精神保健業務・ふれあい収集について	9人
第2日目	実習(同行訪問)	0人
第3日目	施設紹介、反町福祉機器センター見学及び「在宅リハビリテーション事業」「住環境整備事業」について講義	8人
合計	3回	17人

地域密着型サービス運営推進会議他

地域密着型サービスの運営推進会議参加。運営状況等確認、アドバイス。

開催月	内　　容	参加人数
4月15日	グループホームひばり苑花見台運営推進会議	書面
5月5日	グループホーム若草の丘	書面
5月18日	保土ケ谷区在宅医療相談室運営会議	24人
6月15日	グループホームひばり苑花見台運営推進会議	書面
7月4日	グループホーム若草の丘	書面
9月1日	地域密着型小規模デイサービスコトコト初音ヶ丘	書面
9月6日	グループホーム若草の丘	書面
11月2日	グループホーム若草の丘	書面
11月25日	天王町ケアホームえん	4人
11月25日	天王町グループホームえん	4人
11月25日	ツクイ横浜保土ヶ谷グループホーム	書面
12月5日	グループホーム若草の丘	書面
1月19日	ツクイ横浜保土ヶ谷グループホーム	書面
1月19日	グループホーム若草の丘	書面
3月13日	グループホーム若草の丘	書面
3月17日	ツクイ横浜保土ヶ谷グループホーム	書面
3月27日	天王町グループホームえん	4人
合計	17回	36人

5. 介護予防事業 (令和4年4月～令和5年3月末日迄の実績)

地域において自主的な介護予防に資する活動が広く実施され、地域の高齢者が自ら活動に参加し、介護予防に向けた取組が自主的に実施されるような地域社会の構築を目指して、介護予防に関する活動の普及・啓発と育成・支援を実施している。

介護予防事業実績

介護予防普及啓発事業　　合計　63人

開催日	事　業　名	種別	参加人数
10月20日	歩行と転倒予防	介護予防普及啓発	9人

11月19日	咀嚼力と健康	介護予防普及啓発	17人
12月13日	フレイル予防の基礎知識と栄養	介護予防普及啓発	6人
2月16日	口腔と栄養	介護予防普及啓発	5人
3月5日	保土ケ谷東部地区健康講座	介護予防普及啓発	26人
合計	5回		63人

介護予防活動支援事業　　合計　81人

開催日	事　業　名	種別	参加人数
10月7日	さくらコスモス健康測定会	介護予防活動支援	12人
11月19日	咀嚼と健康	介護予防活動支援	17人
2月15日	桜ケ丘自治会健康講座	介護予防活動支援	28人
3月9日	セツルメント診療所友の会フレイル予防の基礎知識	介護予防活動支援	24人
合計	4回		81人

6. 介護予防支援、介護予防ケアマネジメント事業

（令和4年4月～令和5年3月末日迄の実績）

「要支援1」「要支援2」に認定された方の介護予防支援サービス・支援計画書の作成を実施している。また、業務の一部を居宅介護支援事業者の介護支援専門員に委託できることとなっており、介護予防支援サービス・支援計画書作成委託契約の上、介護予防支援、介護予防ケアマネジメントをお願いし、管理・実施をしている。

介護予防支援、介護予防ケアマネジメント事業実績

指定居宅介護支援事業所に委託している件数　　延合計　4405人

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	委託利用者数
新　規	12	13	8	12	8	11	15	17	8	6	12	7	129
継　続	340	346	355	352	351	355	353	361	370	367	360	366	4276
合　計	352	359	363	364	359	366	368	378	378	373	372	373	4405

	直　接				委　託				直接	委託	合計
	要支援1		要支援2		要支援1		要支援2				
	新規	継続	新規	継続	新規	継続	新規	継続			
4月	0	4	0	2	5	105	7	235	6	352	358
5月	0	4	0	2	8	109	5	237	6	359	365
6月	0	4	0	3	5	114	3	241	7	363	370
7月	0	3	0	2	1	116	11	236	5	364	369
8月	0	3	0	3	1	111	7	240	6	359	365
9月	0	3	0	3	5	111	6	244	6	366	372
10月	0	3	0	3	6	109	9	244	6	368	374
11月	0	3	0	3	10	111	7	250	6	378	384
12月	0	3	0	3	3	114	5	256	6	378	384
1月	0	2	0	3	6	102	5	264	5	377	382
2月	0	2	0	3	3	114	5	256	5	378	383
3月	0	2	0	3	4	103	3	260	5	370	375
合計	0	36	0	33	57	1319	73	2963	69	4412	4481

7. 協力医による相談

無料医療相談

月に1～3回程度ｹｱﾌﾟﾗｻﾞへ来所して頂き、地域活動交流・地域包括支援センター事業に関する協力を実施する。現在は、無料医療相談会・医療的な講義を実施している。

開催日	区　分	相談内容等	相談人数
合計		0回	0人

8. 自主事業 (令和4年4月～令和5年3月末日迄の実績)

キャラバン・メイト連絡会

認知症を正しく理解し、認知症の人や家族を温かく見守り支援する市民(認知症サポーター)を一人でも多く増やすための普及啓発活動や認知症の人が住み慣れた地域で自立した生活を継続できるサポート体制の構築するための連絡会と講座を開催する。

開催日	内　　容	参加人数
4月11日	認知症について周知するツールについて	3人
5月16日	周知チラシ作成について	5人
6月13日	周知チラシ内容について	4人
7月11日	キャラバンメイトの活動チラシ作成の目的や周知方法について	2人
9月12日	キャラバンメイトの活動チラシの作成	4人
10月17日	キャラバンメイトの活動チラシの作成	3人
11月11日	キャラバンメイトの活動チラシの作成と今後の活動について	4人
12月12日	今後の活動をどのように行うか	4人
1月16日	チラシの内容と周知について	2人
2月13日	来年度の活動について	2人
3月13日	来年度の活動について	3人
合計	11回	36人

認知症サポーター養成講座

開催日	場　　所	参加人数
9月21日	保土ケ谷公会堂(区、包括共催:イオン天王町従業員向け)	450人
2月22日	保土ケ谷区役所(区、包括共催:郵便局職員向け)	28人
合計	2回	478人

出張講座

地域で行っているサロン等に参加し、ケアプラザが身近な存在であることを理解して頂く。
地域包括支援センターの役割を理解して頂き、介護保険制度・介護予防の必要性や取り組み方等、いざに備え安心して生活を送っていただくことを目的に実施している。

開催日	内　　容	場　所	参加人数
1月20日	保土ケ谷地区民児協定例会「介護保険について」	コープ保土ケ谷集会所	21人
合計	1回		21人

情報啓発等

介護予防、介護保険制度、権利擁護の周知、啓発等
来所が難しい地域住民に対して健康相談、生活相談等を受け、必要な制度資源につなげる。

開催日	内　　容	場　所	参加人数
9月30日	すいとんの会	瀬戸ヶ谷町公園・自治会館	40人
11月20日	盆踊り大会	瀬戸ヶ谷町公園	200人
合計	2回		40人

Ⅱ. 地域活動・交流事業　事業報告

令和5年3月末現在

地域活動事業は、子どもや高齢者、障がい者等、地域に暮らす全ての人たちが、孤立することなく地域の一員として、自分らしく支え合って暮らせる地域づくりを推進できるよう努めています。住民主体の地域づくりが推進するよう、地域福祉保健計画を軸とした事業展開を行い、子育て、障がい、高齢、ボランティア等の福祉に関する事業を実施します。
岩崎地域ケアプラザは6連合地区を担当している為、地域ケアプラザでの実施だけではなく地域に出向いた形での出張講地域ケアプラザ主催もしくは関係機関等と共催にて実施し、様々な交流の場を提供致します。
また、福祉保健活動拠点としての役割を更に活かすため、地域のボランティア団体・自治会・地区社協との連携を図り、活動団体へ向けた部屋利用促進も図っています。
今年度は新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止の観点から、コロナ禍の状況でも地域活動を後押しすることができる取組等の検討を区役所および区社会福祉協議会と重ね、地域との信頼関係が継続できるように努めております

(1) 地区支援取組状況

第4期地域福祉保健計画地区別計画の推進に向けて、所長および地域包括支援課、地域生活支援課と協働し区役所、区社会福祉協議会とともに各地域の状況やニーズ把握に努めています。
地域住民主体の活動を後押しできるよう、地域住民と地域の目指す姿を共有し、住民主体の地域づくりが更に推進するよう努めています。

地　区	頻度	参　加	内　　容
保土ケ谷地区	2ヶ月に1回 (その他必要に応じ随時)	14回	・区役所、区社会福祉協議会との地区支援チーム会議 ・保土ケ谷地区ほっとなまちづくり実行委員会 (地区社会福祉協議会定例会) ・地区民生委員児童委員協議会定例会・あんしん訪問員研修 ・みんなでキッチンスタッフ会議・ご近助隊かりばスタッフ会議
保土ケ谷中地区	3ヶ月に1回 (その他必要に応じ随時)	12回	・区役所、区社会福祉協議会との地区支援チーム会議 ・地区社会福祉協議会定例会 ・地区民生委員児童委員協議会 ・保土ケ谷中地区ほっとなまちづくり実行委員会
保土ケ谷南部地区	毎月1回 (その他必要に応じ随時)	25回	・区役所、区社会福祉協議会との地区支援チーム会議 ・地区社会福祉協議会定例会(南部地区社協運営委員会) ・地区民生委員児童委員協議会定例会 ・瀬戸ケ谷町自治会家庭防災員イベント ・見守り部会、交流部会
保土ケ谷東部地区	2ヶ月に1回 (その他必要に応じ随時)	13回	・区役所、区社会福祉協議会との地区支援チーム会議 ・地区社会福祉協議会役員会 ・ほっとなまちづくり委員会 ・地区民生委員児童委員協議会定例会 ・あんしん訪問員研修
岩間地区	毎月1回 (その他必要に応じ随時)	23回	・区役所、区社会福祉協議会との地区支援チーム会議 ・地区社会福祉協議会定例会 ・地区民生委員児童委員協議会定例会 ・あんしん訪問員研修 ・まごころホルダー実行委員会(まごころホルダー作業部会)・ミニ運動会 ・まごころフェスタ
岩井町原地区	必要に応じ随時	9回	・区役所、区社会福祉協議会との地区支援チーム会議 ・地区民生委員児童委員協議会定例会・ワクワクいわい健康マップ作製委員会 ・地区保健活動推進員定例会議 ・ワクワクいわいウォーキング ・社会福祉大会打合せ及び当日発表

(2) ネットワーク関係

○岩崎サポートネットワーク(ボランティア連絡会・CM連絡会・介護予防連絡会)

話し合いの場を持ち、問題を解決する方法を模索していくための連絡会です。

開催回数　0　回　　参加者　0　名

※新型コロナウイルスの感染状況をみながら3月頃実施予定

○子育て支援連絡会全体会

全体会は区域で子育て支援を行っている施設や団体、個人のネットワークを広げたり、他のエリアの事例を聞き勉強し、地域の子育て支援を実施して行く目的で開催されています。

開催回数　1　回　　参加者　60　名

○岩崎エリア子育て支援連絡会

子育て支援連絡会は地域で子育て支援を行っている施設や団体、個人のネットワークを広げ、地域の子育て支援を実施して行く目的で開催されています。

開催回数　3　回　　参加者　75　名

・5月9日：情報発信ツールに対する意見交換及び利用に関する検討(27名)
・9月21日：情報発信ツールの活用ルールの確認及び活用後の流れについて(26名)
・2月9日：情報発信ツールの活用の振返り、今後の進め方について(22名)

※上記の連絡会に向けての協議や地域状況の共有等を目的とした事務局会議を適宜実施しています。

開催回数　7　回　　参加者　40　名

・4月15日：今年度のエリア別連絡会(5/9)の実施に向けた検討、顔合わせ(6名)
・6月10日：5/9実施エリア連絡会の振返り、まとめ(6名)
・7月28日：9/21実施エリア連絡会の細部検討等(6名)
・9月6日：地区アセスメント実施(5名)
・12月13日：2/9のエリア連絡会の詰め及び地区アセスメント(5名)
・1月12日：2/9のエリア連絡会の詰め(6名)
・2月17日：2/9のエリア連絡会の振返り　次年度に向けて(6名)

(3)自主事業(当初計画および状況報告)

計画事業名	実施予定頻度	講師など	参加者	内容
ダウン症の会	毎月第1 土曜日	福地　玲子	現在 休止中	ダウン症の子と保護者によるヒップホップダンスを通じての交流の場
こどもランド	毎月第2月曜日 第3土曜日	—	現在 休止中	イベント・フリースペース等親子の集いの場。近隣保育園等との交流
リズムあそび	毎月第1 水曜日	柿崎　美也子	現在 休止中	リトミックを取り入れた音楽遊びと親子の居場所づくり デイサービスでの世代間交流
大人のヨガ教室	毎月第2 火曜日	藤島　洋子	現在 休止中	帷子町会館にて実施 地域住民を対象としリラックス効果と健康増進を目指すヨガを通じた仲間づくり
玄米ダンベル体操リターンズ	毎月第3 金曜日	表　和美	現在 休止中	太陽の國ほどがやにて実施 介護予防・普及啓発 基礎体操から玄米ダンベル(1本300g前後)を使用した体操を実施し地域で体操の出来る場所作りを目的とする。
ちくちくサロン	毎月第3 水曜日	—	現在 休止中	雑巾やアクリルたわしなどを作成し、近隣の施設等へ寄付する社会貢献参加型のオープンサロン。
ほっとフレンズ夏	7月31日	—	10名	保土ケ谷区7地域ケアプラザが関わるほっとフレンズ実行委員会での共同開催。区内に在住・在学のハンディのある小学生～高校生の子と保護者を対象にボッチャ体験、太鼓の演奏を鑑賞します。
ほっとフレンズ春	3月26日		12名	
もくようびのすまいる	4月21日 6月16日 8月18日 10月20日 12月15日 2月16日	—	7名 10名 4名 11名 11名 11名	地域住民の居場所づくり、福祉・地域情報の発信、介護者支援

※現在、所内会議およびコーディネーター会議にてコロナ禍で行える自主事業(新しい生活様式、集わなくても繋がれる等の内容)についての今後に向けた協議・検討を重ねています。

(4)他ケアプラザ、関係機関等との共催事業(当初計画および状況報告)

計画事業名	実施日・実施予定日	参加者	内容
幼稚園ママにきいちゃおう	6月23日	9名	保土ケ谷区地域子育て支援拠点こっころ共催事業、先輩幼稚園ママに入園に対する助言や日頃の生活のアドバイスや意見交換を実施
わくワク体操×とくトク講座	11月19日	17名	岩井町原地区保健活動推進員・太陽の國ほどがや・保土ケ谷区役所共催、正しいウォーキング、健康講座、口腔ケアについてを岩井町原地区の保健活動推進員を中心に実施。連合町内会もバックアップ有

(5)後方支援事業

自主事業等から発足した団体等の後方支援を行い、活動団体運営の安定化を図っております。

事業名	実施日	頻度	内容
肉体美改造計画	毎月第4金曜日	随時	介護予防普及・啓発 玄米ダンベルを用いた体操の実施及びメンバー間の交流促進
さくら会 コスモス会	さくら会第2・4金曜日　コスモス会第1・3金曜日	随時	介護予防普及・啓発 脳トレやリボンを用いた体操の実施及びメンバー間の交流促進 助成金申請方法や団体継続のアドバイスや相談等 必要に応じて体力測定等を実施
Gスマイル	毎月第2,4木曜日	随時	介護予防普及・啓発 椅子に座ったままできる体操の実施及びメンバー間の交流促進、団体継続や活動のアドバイスや相談等
岩崎認知症キャラバン・メイト	毎月第2月曜日	月1回	認知症を正しく理解し、認知症の人や家族を温かく見守り支援する市民(認知症サポーター)を一人でも多く増やすための普及啓発活動や認知症の人が住み慣れた地域で自立した生活を継続できるサポート体制の構築するための連絡会を実施
アシスト岩崎	定例会毎月第4金曜日	随時	生活支援ボランティア 団体継続や活動のアドバイスや相談等

(6)広報誌の発行

発行回数　毎月発行　　発行部数　2,000部/月(コロナ禍により部数変更)

自主事業のパンフレットは、近隣自治会の掲示板にも掲示。

又、事業参加者募集に関しては、区の広報誌にも掲載依頼を行っております。

(7)貸し館状況

・件数実績(R4.4-R5.3)

四半期／部屋別	第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期	合計
多目的ホール	89件	72件	89件	93件	343件
調理室	10件	3件	9件	3件	25件
ボランティア室	9件	5件	8件	2件	24件
地域ケアルーム	21件	15件	30件	20件	86件
合計	129件	95件	136件	118件	478件

・利用率(R4.4-R5.3)

部屋別／時間帯	多目的ホール	調理室	ボランティア室	地域ケアルーム
9-12時	58%	3%	3%	12%
12-15時	31%	3%	2%	9%
15-18時	10%	1%	1%	4%
18-21時	0%	0%	0%	0%

※小数点以下四捨五入

※横浜市の通知に基づき、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止に留意した施設運営を行っています。感染防止対策を徹底し、より多くの皆様にプラザを活用していただけるよう、引き続き努めていきます。

(8)ボランティア関係

団体名	内容	登録者数	実施回数
きさらぎの会	中途障害者の居場所づくり	5人	16回
さぽーと岩崎	高齢者対象のサロン	5人	0回
アシスト岩崎	高齢者等のお宅の草刈、修繕、手伝いなど	10人	41回
岩崎認知症キャラバンメイト	認知症サポーター養成講座の開催、打ち合わせ	8人	12回
さくら会	高齢者の健康と体力の維持・増進	3人	21回
コスモス会	高齢者の健康と体力の維持・増進	3人	23回
ご近助隊かりば	生活支援ボランティア団体	37人	19回

※新型コロナウイルス感染症感染拡大防止の観点から、自主的に活動を休止している団体もあります。
既に活動を段階的に再開している団体さんもございますが、今後も引き続き活動が円滑に実施できるよう
地域包括支援課、地域生活支援課と協働し支援を行っていけるよう、努めていきます。

(9)その他　取組状況

項目名	頻度	参加	内容
地域活動・交流CO連絡会	毎月1回	11回	区内他地域ケアプラザコーディネーターとの情報共有、共催事業についての協議・検討、研修会等の実施
地域交流研究会	毎月1回程度	6回	市内地域活動・交流コーディネーターが各区より代表者が参加し市内コーディネーターの情報共有及び研修等を計画することにより全体のスキルアップを目的としている。※今年度岩崎地域ケアプラザとしては取組のプロジェクトメンバーとして参加依頼があり参加。
保土ケ谷区障害者地域自立支援協議会こども事例検討部会事務局会議	5月19日 6月8日 7月8日 9月9日 10月14日 12月9日 1月13日	7回	保土ケ谷区内の障害のある児童・生徒やそのご家族が地域で安心して暮らして行くために関係機関で意見交換や課題検討を実施
保土ケ谷区障害者地域自立支援協議会こども事例検討部会研修	7月15日 10月21日 1月20日	3回	児童相談所の役割と基礎理解(児童相談所見学有)(7月15日) 放課後デイサービス連絡会(10月21日) 愛着理論について(1月20日)
アクションポート横浜連携事業	随時	6回	学生と地域とつなぐアクションポート横浜と連携を図り、学生が地域の取組に参加することにより地域の活性化を図る。

Ⅲ. 生活支援体制整備事業　事業報告

令和5年3月末現在

地域のインフォーマルサービスの整備や担い手の発掘、地域の基盤整備等地域の様々な活動把握を行い、ニーズに応じて運営をしております。
地域の発展やニーズに応えるため、出張講座や地域の取組への参加、介護保険事業所や民間企業との連携、協議体、自主事業等を行っております。
また、地域の見守りについて強化を図る為、担当の6地区に全てにおいて共有する機会を設け、地域と民間企業、地域ケアプラザが繋がるきっかけづくりを行っております。
今年度は新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、地域の活動団体が減少する傾向にあります。
地域の活動団体の継続を目標とし、継続に対するノウハウを伝えたり、共に考えることで、地域と一緒になって動くことを念頭に置き支援しております。また、オンラインでの研修開催や、地域への発信方法の変更検討を重ね、地域との信頼関係が継続できるように努めております。

(1)自主事業(生活支援課共催事業【他事業所共催含】)

事業名	実施日	講師など	参加者	内容	開催
もくようびのすまいる	4月21日	-	7名	地域住民を対象とした権利擁護相談やミニ講座、介護者のつどい、展示物による情報発信を行う。	地域包括共催
もくようびのすまいる	6月16日	-	10名	地域住民を対象とした権利擁護相談やミニ講座、介護者のつどい、展示物による情報発信を行う。	地域包括共催
もくようびのすまいる	8月18日	-	4名	地域住民を対象とした権利擁護相談やミニ講座、介護者のつどい、展示物による情報発信を行う。	地域包括共催
もくようびのすまいる	10月20日	-	11名	地域住民を対象とした権利擁護相談やミニ講座、介護者のつどい、展示物による情報発信を行う。	地域包括共催
もくようびのすまいる	12月15日	-	11名	地域住民を対象とした権利擁護相談やミニ講座、介護者のつどい、展示物による情報発信を行う。	地域包括共催
もくようびのすまいる	2月16日	-	11名	地域住民を対象とした権利擁護相談やミニ講座、介護者のつどい、展示物による情報発信を行う。	地域包括共催

(2)地域活動・団体立ち上げ・継続支援(岩崎CP以外での活動等)

団体・活動名	地区	運営	対象	内容	支援
ご近助隊かりば	保土ケ谷地区	保土ケ谷地区 社会福祉協議会	保土ケ谷地区	生活支援ボランティア団体の設立・運営(草刈り・家事・家具移動等)	運営支援
みんなでキッチン	保土ケ谷地区	保土ケ谷地区 社会福祉協議会	保土ケ谷地区	地域食堂(狩場町東部自治会館を使用) 子供が遊べるスペースの確保・子供、高齢者限らず地域の方なら誰でも対象カレーやジャンボリアの食事を提供	継続支援 運営支援
まごころホルダー	岩間地区	岩間地区 社会福祉協議会	岩間地区	まごころホルダー(見守りキーホルダー)の継続から運営までを支援	継続支援 運営支援

(3)後方支援事業
岩崎地域ケアプラザ自主事業から発足した団体の後方支援を行い、団体の安定化を図っております。

事業名	実施日	頻度	内容
肉体美改造計画	毎月第4 金曜日	随時	介護予防普及・啓発 玄米ダンベルを用いた体操の実施及びメンバー間の交流促進 助成金申請方法や団体継続のアドバイスや相談等

さくら会コスモス会	さくら会第2・4金曜日　コスモス会第1・3金曜日	随時	介護予防普及・啓発 脳トレやリボンを用いた体操の実施及びメンバー間の交流促進 助成金申請方法や団体継続のアドバイスや相談等
Gスマイル	毎月第2,4木曜日	随時	介護予防普及・啓発 椅子に座ったままできる体操の実施及びメンバー間の交流促進 団体継続や活動のアドバイスや相談等
岩崎認知症キャラバン・メイト	毎月第2月曜日	月1回	認知症を正しく理解し、認知症の人や家族を温かく見守り支援する市民(認知症サポーター)を一人でも多く増やすための普及啓発活動や認知症の人が住み慣れた地域で自立した生活を継続できるサポート体制の構築するための連絡会を実施
アシスト岩崎	定例会毎月第4金曜日	随時	生活支援ボランティア 団体継続や活動のアドバイスや相談等

(4)地区支援取組状況

担当する6地区の会議等に参加し、地域のニーズや目指す方向性の確認、検討を行っております。

地　区	頻度	参　加	内　　容
保土ケ谷地区	定例会は2ヶ月に1回(その他必要に応じ随時)	14回	・区役所、区社会福祉協議会との地区支援チーム会議 ・保土ケ谷地区ほっとなまちづくり実行委員会 (地区社会福祉協議会定例会) ・地区民生委員児童委員協議会定例会・あんしん訪問員研修 ・みんなでキッチンスタッフ会議・ご近助隊かりばスタッフ会議
保土ケ谷中地区	定例会は3ヶ月に1回(その他必要に応じ随時)	12回	・区役所、区社会福祉協議会との地区支援チーム会議 ・地区社会福祉協議会定例会 ・地区民生委員児童委員協議会 ・保土ケ谷中地区ほっとなまちづくり実行委員会
保土ケ谷南部地区	定例会は月1回程度(その他必要に応じ随時)	25回	・区役所、区社会福祉協議会との地区支援チーム会議 ・地区社会福祉協議会定例会(南部地区社協運営委員会) ・地区民生委員児童委員協議会定例会 ・瀬戸ケ谷町自治会家庭防災員イベント ・見守り部会、交流部会
保土ケ谷東部地区	役員会は2ヶ月に1回(その他必要に応じて参加)	13回	・区役所、区社会福祉協議会との地区支援チーム会議 ・地区社会福祉協議会役員会 ・ほっとなまちづくり委員会 ・地区民生委員児童委員協議会定例会 ・あんしん訪問員研修
岩間地区	定例会は毎月1回(その他必要に応じ随時)	23回	・区役所、区社会福祉協議会との地区支援チーム会議 ・地区社会福祉協議会定例会 ・地区民生委員児童委員協議会定例会 ・あんしん訪問員研修 ・まごころホルダー実行委員会(まごころホルダー作業部会)・ミニ運動会 ・まごころフェスタ
岩井町原地区	役員会は不定期(その他必要に応じ随時)	9回	・区役所、区社会福祉協議会との地区支援チーム会議 ・地区民生委員児童委員協議会定例会・ワクワクいわい健康マップ作製委員会 ・地区保健活動推進員定例会議 ・ワクワクいわいウォーキング ・社会福祉大会打合せ及び当日発表

(5)生活支援取組状況

生活支援関係のニーズ把握や、地域との関係作りの為、下記の取組を行って参りました。
昨年度より第2層生活支援Co研究会が発足し、横浜市の第2層生活支援Coの底上げの為尽力しております。
研究会では横浜市の生活支援Co向けのハンドブックとしてアンケート回答集を作成致しました。
また、地域包括支援センター、地域活動交流事業と連携を図り、地域からの講座依頼等には、積極的に参加や協力をしております。6地区担当をメリットと捉え、他地区の情報や知識を活かしながら、活動しております。

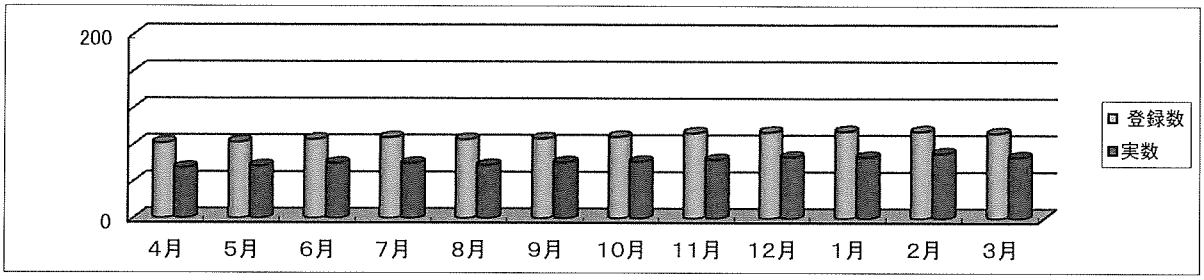
参加項目名	内容	頻度	参加
生活支援Co連絡会の開催	区版指針の作成、他のコーディネーターの取組の共有、研修報告、勉強会等の実施	毎月1回	12回
第2層生活支援Co研究会への参加(随時)	第2層生活支援コーディネーターの為の研究会(有志)。 課題分析等を行い、今後の計画を立てる。 情報交換班、Ayamu班、勉強班に別れて活動中。	毎月1回 (その他必要に応じて)	12回
第2層生活支援Co研究会勉強班主催研修	第2層生活支援Co向け研修。コミュニケーションスキルを高める為、人との接し方等を学ぶ。(オンライン・会場同時開催)講師調整から研修内容の組立てまでを勉強・研修班で実施	随時	必要に応じて
地域の取組への参加	福祉教育、防災訓練、交流会、お祭り等への参加及び生支援体制整備事業の周知	随時開催	必要に応じて
地域包括支援課総合相談表分析	地域包括支援課総合相談票より、課題ニーズの把握と分析(生活支援の部分を中心に)		
生活支援関係研修への参加	生活支援コーディネーター研修、コーディネーター共通研修、介護予防研修への参加	随時開催	7回
地区別データの分析	各地区の高齢化率、人口、インフォーマルサービス等を一覧として整理し、分析を行う		
区役所・区社会福祉協議会との合同カンファレンス	地域包括支援課3職種、地域活動・交流Co, 生活支援Co、区役所、区社協と生活支援についての合同カンファレンス	毎月1回	12回
コーディネーター会議への参加	地域活動事業課と合同で開催。自主事業の展開や地域のつながり作りについて検討	毎月1回	12回
所内5職種会議への参加	地域包括・地域活動・生活支援での合同会議により、各課の情報共有と業務の進捗状況の把握	毎月1回	10回

Ⅳ. 居宅介護支援事業　事業報告

令和5年3月末現在

1. サービス利用者数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
登録数	82	83	86	88	86	87	89	93	94	95	95	93	1071
実数	55	57	60	60	58	61	62	64	67	67	71	67	749
割合	67.1%	68.7%	69.8%	68.2%	67.4%	70.1%	69.7%	68.8%	71.3%	70.5%	74.7%	72.0%	69.9%
前年実数	62	63	62	62	60	60	58	55	57	55	55	56	705

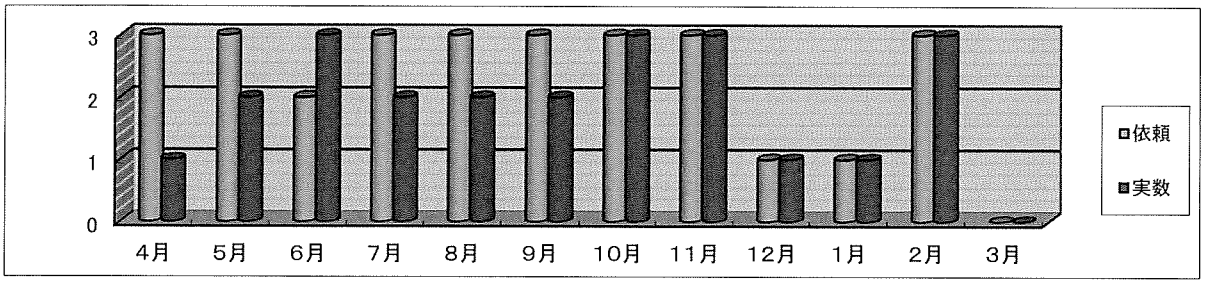


2. 新規サービス開始

令和5年3月末現在

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
依頼	3	3	2	4	3	3	4	4	1	1	3	0	31
実数	1	2	3	2	2	2	4	3	1	1	3	0	24
割合	4.2%	8.3%	12.5%	8.3%	8.3%	8.3%	16.7%	12.5%	4.2%	4.2%	12.5%	0.0%	100.0%

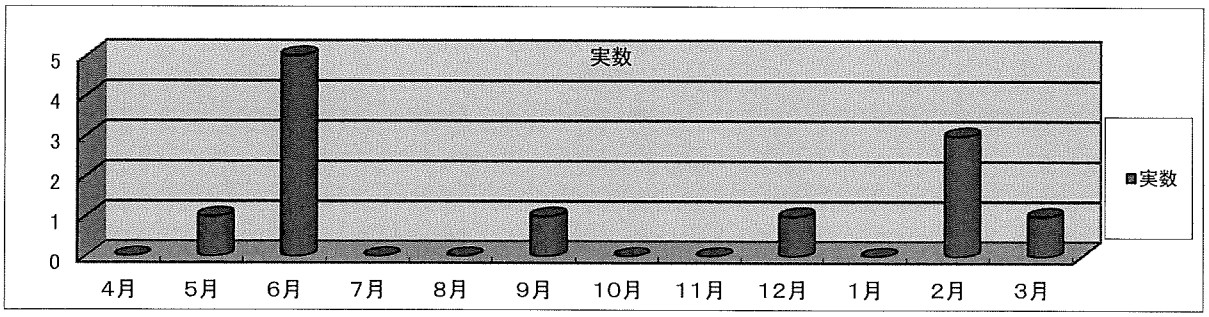
担当件数は、介護給付35件、予防給付8件とする。入院・入所者等の状況に合わせて件数を調整する。



3. サービス利用中止

令和5年3月末現在

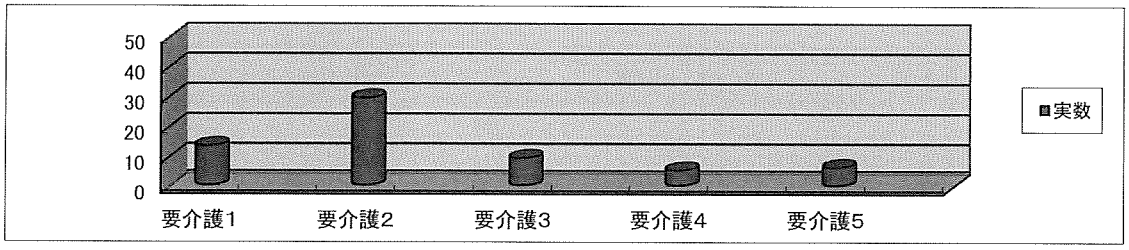
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
登録数	82	83	86	88	86	87	89	93	94	95	95	93	1071
実数	0	1	5	0	0	1	0	0	1	0	3	1	12



4. 介護度別実績　　令和5年3月末現在

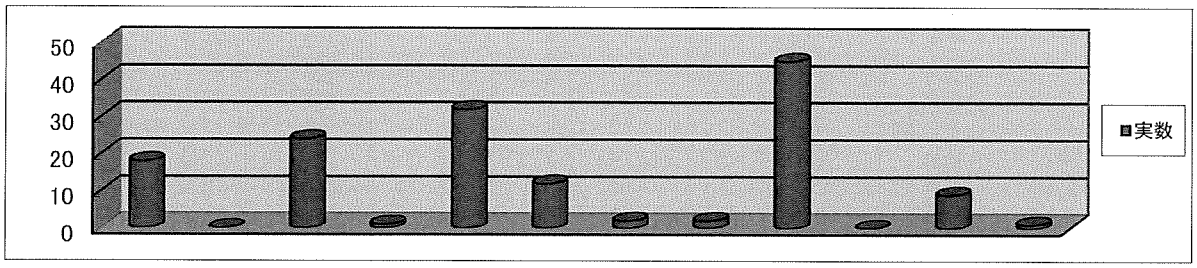
	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	合計
実数	14	30	10	6	7	67

※月末日において認定結果が出ていない方は除いています。



5. サービス種類別分布　　令和5年3月末現在

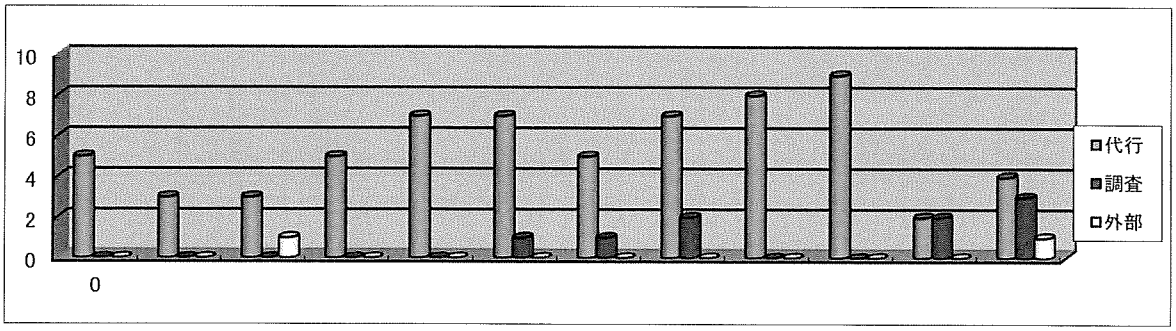
	訪問介護	訪問入浴	訪問看護	訪問リハ	通所介護	通所地域	通所認知	通所リハ	福祉用具	療養管理	短期入所生活介護	短期入所療養介護	合計
業者数	11	0	8	1	9	6	2	2	13	0	7	1	60
実数	18	0	24	1	32	12	2	2	45	0	9	1	146
割合	12.3%	0.0%	16.4%	0.7%	21.9%	8.2%	1.4%	1.4%	30.8%	0.0%	6.2%	0.7%	100.0%



6. 認定調査申請代行件数・認定調査(調査:通常　外部:市外等)実施件数　　令和5年3月末現在

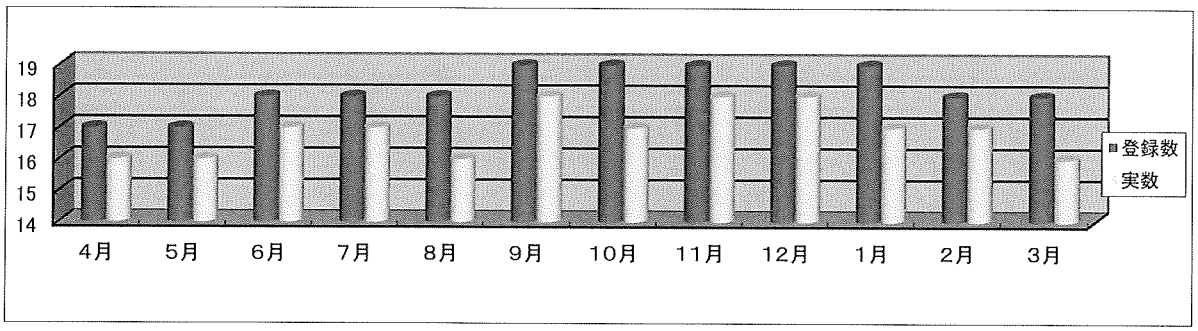
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
代行	5	3	3	5	7	7	5	7	8	9	2	4	65
調査	0	0	0	0	0	1	1	2	0	0	2	3	9
外部	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1	2

申請代行は、担当している件数。認定調査は、担当者分＋地域包括支援課からの依頼分含む。



7. 介護予防利用者実績

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
登録数	17	17	18	18	18	19	19	19	19	19	18	18	219
実数	16	16	17	17	16	18	17	18	18	17	17	16	203
割数	94.1%	94.1%	94.4%	94.4%	88.9%	94.7%	89.5%	94.7%	94.7%	89.5%	94.4%	88.9%	92.7%
前年実数	13	12	12	13	13	15	14	14	14	13	14	15	162



8.まとめ

プランの依頼は主に地域包括支援センターから受けているが、ガン末期や認知症が進行し在宅生活が難しいケースは、入院・入所になり易くサービス提供期間が短い(概ね2～4ヶ月)場合が多い。要支援1・2の場合は更新時、要介護1になっても、また要支援に戻るケースが多くそのまま要支援として委託を受けるので、件数が増える傾向にある。
最近は家族からの依頼や病院の医療相談員や退院支援看護師からの依頼も多くなっている。

今年も新型コロナウィルスの影響が続いており、ヘルパー訪問を減らしたり、福祉用具の点検訪問を断り、TELでの確認を希望する利用者が多くあった。高齢者は複数の病気を持っている方も多く、感染リスクが高い事から「自宅に来るサービスは不安である」「外出が心配」との声が多く聞かれた。

新型コロナウィルスの流行により、最初の頃は訪問を遠慮してほしいと希望される利用者・家族もあったが、現在はマスクの着用、手洗い・消毒の徹底により訪問してのアセスメントが行えるようになっている。コロナワクチン接種はほとんどの方が5回の接種を受けたが、若い世代の感染が増えており、同居家族から感染するケースもあり、まだまだ安心できない状況である。
認定調査は、新型コロナウィルスの流行によりすべての更新申請について、面会が困難な場合には臨時的な取り扱いとして、従来の期間に新たに12ヶ月までの範囲で延長できる事になった為、調査数が極端に減っている。区外認定調査も同様の理由で依頼が減少している。

要介護度別に見ると、要介護2・3が多く、要介護4. 5は入院、入所になり易い為少ない傾向にある。
割合で表すと、要介護1　20.90%　要介護2　44. 78%　要介護3　14.92%　要介護度4　8.95%
要介護5　10.45%となっている。

Ⅴ. 通所介護事業　事業報告

令和5年3月末現在

今年度も、引き続きコロナウイルス感染症予防対策を行いながら、レクレーションや生活リハビリの個別化送迎範囲を広げより多くの方にご利用していただけるように、様々な事業展開を行ってまいりました。

身体を動かす機会がない方に簡単で分かり易い体操を考案し楽しみながら自然に体を動かしてもらいました。ゆったりと思い思いの時間を過ごしていただけるように楽しい雰囲気作りを目指し、介護支援専門員と相談しながらサービス提供を行いました。

1　利用実績　　（令和4年　4月　1日　～　令和5年　3月31日までの実績）

	予防	介護	全体
総利用人数	1253名	7570名	8823名
総可動日数	357日	357日	357日
平均利用者人数	3.51名	21.2名	24.7名

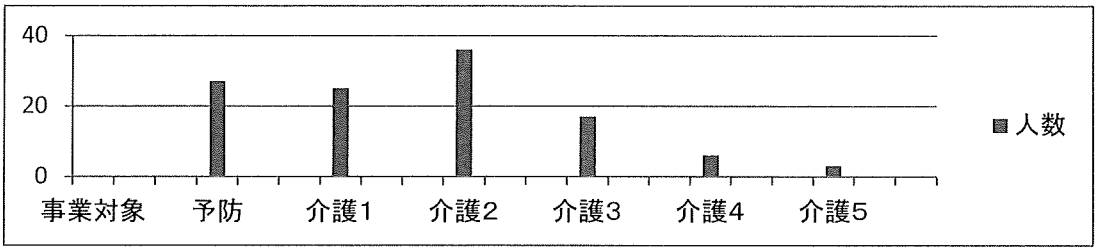
2　申し込み状況　（延べ件数）

申し込み件数　28 件　　開始件数　27 件　　中止　41 件

中止理由
① 死亡　9件　　③ 入院　1件　　⑤ 体調不良　4件　　⑦ 転居　0件
② 入所　15件　　④ 不希望10件　　⑥ 他施設利用　1件　　⑧ その他　1件

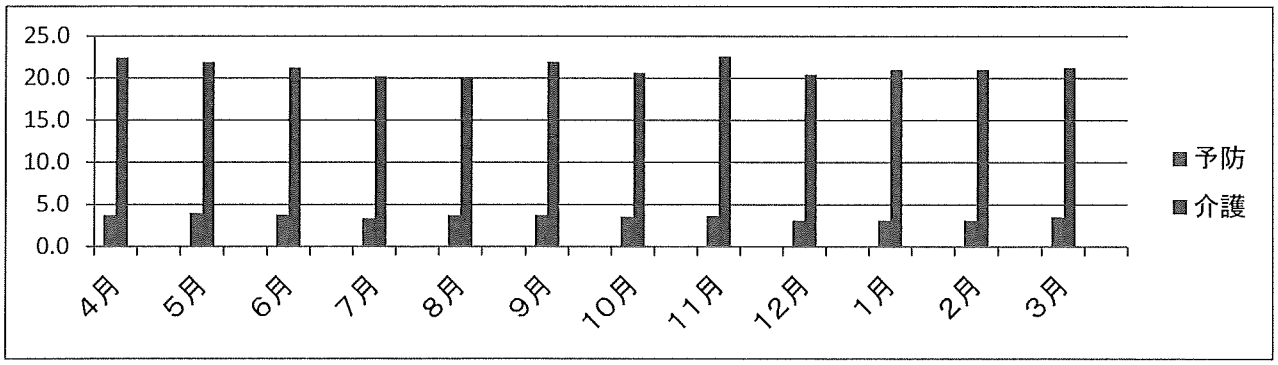
3　要介護度別利用人数と割合

	事業対象	予防	介護1	介護2	介護3	介護4	介護5	合計
登録	0名	17名	22名	36名	18名	11名	9名	113名
実数	0名	17名	21名	31名	15名	10名	9名	103名
%	0.0%	16.5%	20.4%	30.1%	14.6%	9.7%	8.7%	100.0%



4　月別利用人数と平均

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合　計	
予防	111	121	112	103	107	111	110	107	86	87	88	110	1253 名	予防
介護	672	678	636	626	582	657	640	677	570	588	588	656	7570 名	介護
全体	783	799	748	729	689	768	750	784	656	675	676	766	8823 名	全体
日	30	31	30	31	29	30	31	30	28	28	28	31	357 日	日
予防	3.7	3.9	3.7	3.3	3.7	3.7	3.5	3.6	3.1	3.1	3.1	3.5	3.51 名	予防
介護	22.4	21.9	21.2	20.2	20.1	21.9	20.6	22.6	20.4	21.0	21.0	21.2	21.2 名	介護
全体	26.1	25.8	24.9	23.5	23.8	25.6	24.2	26.1	23.4	24.1	24.1	24.7	24.7 名	全体
前年人数	738	774	719	731	791	798	848	795	733	702	720	770	9119 名	全体



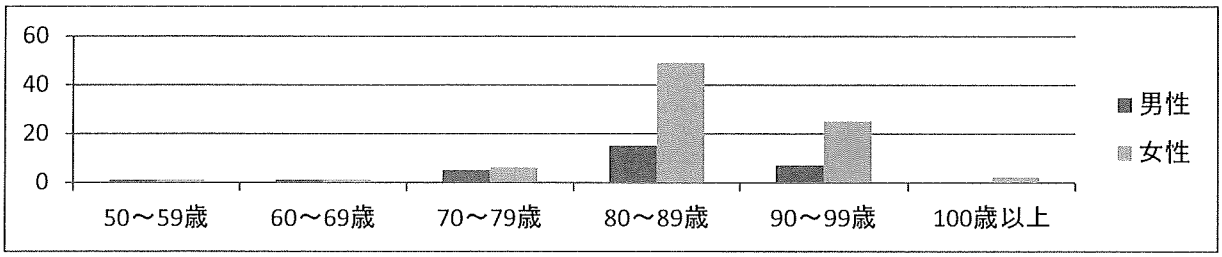
5 町別利用者数　（登録者113名の内訳）

1	岩井町	7 名	7	神戸町	1 名	13	初音ケ丘	13 名	19	保土ケ谷	6 名
2	岩崎町	17 名	8	桜ケ丘	13 名	14	花見台	0 名	20	峰岡	0 名
3	岩間町	8 名	9	瀬戸ケ谷	7 名	15	藤塚町	0 名	21	明神台	4 名
4	霞台	12 名	10	月見台	6 名	16	仏向町	1 名	22	狩場	8 名
5	帷子町	2 名	11	天王町	0 名	17	法泉	1 名	23	その他	1 名
6	川辺町	1 名	12	西久保	5 名	18	星川	0 名	24		
										合計	113 名

6 利用者平均年齢

	男性	女性
最高年齢	95 歳	100 歳
最低年齢	57 歳	56 歳
平均年齢	82.8 歳	85.7 歳
全体の平均	85 歳	
人数構成	29 名	84 名

	男性	女性
50～59歳	1 名	1 名
60～69歳	1 名	1 名
70～79歳	5 名	6 名
80～89歳	15 名	49 名
90～99歳	7 名	25 名
100歳以上	0 名	2 名



7 依頼居宅支援事業者　（総件数 113件の内訳）

他事業所　86件（　26事業所　）　自事業所　25件（包0件）

8 年間行事

4月		10月	避難訓練（1週間）
5月		11月	
6月	体力測定 避難訓練(1日)	12月	クリスマス会
7月	夏祭り	1月	
8月		2月	
9月	敬老週間	3月	節分祭

9 まとめ

令和4年度の月間目標平均人数は、24．3名と設定しておりますが、令和4年4月から令和5年3月までの月の平均人数は24.8名となり、目標を0．5名超える結果となりました。
今後も、より一層、安定した利用者確保のため、新型コロナウイルス感染症の予防対策に取り組み、介護支援専門員等と連携強化を図り、新規利用者の柔軟かつ早急な受け入れ態勢を整え、利用者・家族のニーズに合わせたサービスの提供が出来るように内容の見直し検討を行って参ります。また、昨年度は中重度ケア体制加算の介護3以上が全体の3割以上という要件が満たせず、中重度者ケア体制加算が算定できないことがありましたが、令和4年4月より要件を満たし算定しております。
今後も、安定した運営ができるよう詳細な部分も考慮するとともに、臨時利用、欠席の振り替えを積極的に行い、利用者及びご家族様により安心したサービス提供できるように努めてまいります。
また、認知症加算が取れるように、職員の研修を実施してまいります。
個別機能訓練や新型コロナウィルス感染症予防対策をしながらできるレクレーションの提案、送迎範囲の検討、パンフレットの配布、事業所の挨拶周り、他部署との連携等、他事業所との関係づくりを積極的に行い、利用者のニーズに応えられるようにサービスを提供して参ります。

令和4年度　横浜市常盤台地域ケアプラザ事業報告

＜施設理念＞

（1）明るく誰もが温もりを感じることのできる施設運営の実現
（2）地域住民主体で夢のあるコミュニティづくりの支援
　社会福祉法人なでしこ会は、福祉保健サービスを必要とされる方に対して、個々のニーズに即した積極的な援助を行っていきます。

＜事業目的＞

（1）地域ケアプラザの果たすべき役割である「地域における市民の健康で安心・安全な生活」の実現に向けて、横浜市と連携・協働して活動します。
（2）福祉・保健の拠点として地域に根差し、「地域包括ケア」推進機関として、また各種自主事業実施施設として具体的な目標設定をして事業運営を行います。
（3）介護保険事業に関しては、介護保険法の運営基準に従いながら、ご利用者様満足度の高いサービスの実現を図ります。

＜施設全体として～振り返り～＞

（1）新型コロナウイルス感染症対策として、マスク着用、手指消毒、体温計測等基本的な感染予防対策を徹底致しました。
（2）第４期地域福祉保健計画(ほっとなまちづくり）の推進に向けて、連合町内会毎に、支援チームの一員として地区懇談会にケアプラザ職員が参加し、地区別計画推進の一助を担いました。
（3）横浜型地域包括ケアシステムの構築に向けた『 保土ケ谷区アクションプラン』を踏まえた『地域包括ケア』関連事業として、介護予防、認知症支援、ケアマネジャー支援、権利擁護等を実施しました。
（4）横浜国立大学（常盤台まちづくり応援団）と協働でワークショップを企画し、『とどまりたい場所づくり』をテーマに年間6回開催しました。小中学生も交えて椅子づくりを実施して、地域５カ所に設置しました。
（5）羽沢横浜国大駅の周辺地区におけるまちづくりを支援しました。『羽沢横国まちづくり協議会』によるまちづくりプランの推進事務局として活動しました。
（6）７月『七夕コンサート』１０月『秋の利用者発表会＆作品展』３月『桜バザー』のイベントを３年ぶりに開催致しました。
（7）横浜保土ケ谷中央病院と協力して研修医実習の受入れを実施しました。
（8）チームオレンジのモデル事業を受託して、峰沢地区を中心に研修・講座等を実施しました。
（9）居宅介護支援事業は感染拡大期間は居宅訪問を自粛して電話モニタリングを実施しながら、新規ケース受入れを積極的に実施しました。
（１０）デイサービスは新型コロナウイルス感染症対策としてアクリル板設置や消毒、換気等感染予防対策を行ったうえで実施しました。
（１１）事故・苦情については大きな事案は発生しませんでしたが、ヒヤリハット事例も含め内部検討して予防と再発防止に努めました。
（１２）経営改善計画の実施しました。支出削減効果はあったものの、収入増には及びませんでした。

＜令和5年度に向けた課題＞

（1）新型コロナウイルス感染症対策の徹底。全ての事業において感染予防との両立を図る。
　オンラインでの相談･事業などICTの活用も検討する。
（2）『横浜型地域包括ケアシステムの構築』を踏まえた『地域包括ケア』関連事業の継続推進。
　（地域ケア会議、多職種連携、介護予防、認知症支援(チームオレンジ等)、ケアマネジャー支援、権利擁護等）
（3）第４期 保土ケ谷区地域福祉保健計画（ほっとなまちづくり）の推進。
（4）高齢者だけでなく、子育て世代や障がい者も含めた多様な地域住民に向けた事業展開。
（5）生活支援の充実。地域アセスメントに基づく見守り・支え合いの仕組みづくり。
（6）ボランティアの発掘・育成と活動範囲の拡充。
（7）５職種連携の推進と地域課題の共有。
（8）『羽沢横浜国大駅』周辺地域におけるまちづくりの提案。
（9）コンプライアンス対策の推進。苦情をきっかけとした施設運営の改善。
（１０）経営状況の改善。収入増につながる利用率の向上と経営収支の改善を目指す。
（１１）自然災害及び感染症拡大に対応する業務継続計画（ＢＣＰ計画）の策定。

Ⅰ．地域包括支援事業　事業報告

令和5年3月末現在

地域包括支援センターは、高齢者の皆様が住み慣れた地域でいつまでも充実した毎日を過ごして頂くために総合的な相談・支援を行う機関であり、3職種・介護予防プランナーにてお互いに連携して日常生活の支援や様々な相談に応じています。 事業内容は総合相談支援・権利擁護，包括的・継続的ケアマネジメント、介護予防ケアマネジメント、自主事業を実施している。
各事業毎の実績は以下の通りである。

1．総合相談・支援事業

（令和4年4月～令和5年3月末日迄の実績）

地域の高齢者等に対して面接，電話等による相談を実施し、必要な支援内容を把握するとともに、地域における適切な機関，制度，サービスの利用に繋げる等の支援を行うほか、相談者からの依頼を受けて必要がある場合に、相談者の自宅等を訪問し、安否確認，情報提供，各種福祉保健サービスの申請受付等に努めている。

相談事業実績　　合計　1485　件　　前年度(3月末日)　1718　件

利用方法別

分類		手段			時間帯	
新規	継続	面接	電話	FAX・その他	9～17	17～21
320	1165	218	1235	32	1464	21
合計　1485　件		合計　1485　件			合計　1485　件	

対象者別　　合計　1030　件

65歳以上					40～64歳	
自立	事業対象者	要支援	要介護	その他	要支援・要介護	その他
33	0	329	364	304	97	4

相談者別　　合計　1502　件（重複有り）

本人	家族	地域住民	サービス事業者	施設・医療	区役所	区社協	他のケアプラザ	その他
143	612	94	416	115	91	2	2	27

相談内容別　　合計　1763　件（重複有り）

介護保険	介護予防事業	包括支援事業	行政サービス	インフォーマルサービス	介護医療	施設入所入院	日常生活課題	苦情	成年後見	虐待	その他
909	130	0	7	12	84	86	362	16	42	21	94

訪問事業実績　合計　21　件　前年度(3月末日)　10　件

利用方法別

分類		訪問先			時間帯	
新規	継続	家庭	病院・施設	その他	9～17	17～21
10	11	21	0	0	21	0
合計　21　件		合計　21　件			合計　21　件	

対象者別　合計　21　件

65歳以上					40～64歳	
自立	事業対象者	要支援	要介護	その他	要支援・要介護	その他
0	0	20	1	0	0	0

援助内容別　合計　21　件（重複有り）

安否確認 状況確認	介護・保健等 指導助言	申請受付		他機関等との サービス調整	情報提供	その他
		介護保険	行政サービス			
1	4	0	0	10	5	1

2. 地域ケア会議　(令和4年4月～令和5年3月末日迄の実績)

多職種による個別事例の検討を通じ、高齢者の自立に資するケアプランにつなげていくとともに、
個別事例の検討を積み重ねることにで、地域課題を発見し、新たな資源開発につなげていく。

個別地域ケア会議　(令和4年4月～令和5年3月末日迄の実績)

開催月	内容	参加人数
9月	確固たるキーパーソンが無く公的サービスの必要性を理解できず拒否する認知症高齢者の支援	16人
合計	1回	16人

3. 権利擁護事業　(令和4年4月～令和5年3月末日迄の実績)

福祉保健関係者とのネットワークを構築し、支援を要する方を早期発見し相談に繋げられるように
体制を整備すると共に、研修に参加し業務遂行に必要な実践的知識・情報の習得に努めている。
また、地域の方へ情報を提供している。

認知症連絡会・虐待担当者会議（保土ヶ谷区）

開催月	内　　容	参加人数
5月13日	認知症担当者部会（R3年度振り返り、キャラバンメイト連絡会、認知症講演等話し合い）	13人
7月8日	認知症担当者部会（情報交換、メイト連絡会・サポーター養成講座・講演会等報告共有）	14人
9月9日	認知症担当者部会（情報交換、メイト連絡会・講演会・SOSネットワーク書式変更等報告共有）	15人
6月16日	虐待防止事業担当者会議（虐待対応研修・機関連絡会について企画報告）	6人
8月3日	虐待防止事業担当者会議（虐待対応研修10月と2月・機関連絡会について企画報告）	6人
9月12日	虐待防止事業担当者会議（虐待対応研修10月と・機関連絡会12月について企画報告）	6人
10月14日	高齢者虐待防止事業　基礎研修（包括全体会）	35人
2月13日	訪問介護訪問看護事業所向け虐待研修	21人
合計	8回	116人

認知症・権利擁護関係研修

職員が研修に参加し業務遂行に必要な実践的知識・情報の習得に努めている。

開催月	内　　容	参加人数
7月20日	令和4年度　在宅高齢者虐待基礎研修	1人
1月26日	保土ヶ谷区SOSネットワーク連絡会	1人
3月28日	チームオレンジ説明会	2人
合計	3回	4人

権利擁護講座・相談会

事業所、地域の方への情報提供、普及啓発、利用促進のための事業。

開催月	内　　容	参加人数
3月	峰沢地区食事会にて　近年の特殊詐欺などの情報提供行う	10人
合計	回	10人

介護者のつどい

地域の方々を対象に介護に関する情報提供や医療に関する勉強会を開催し在宅生活の安定を図る。

開催月	内　　容	参加人数
5月26日	栄養ミニ講座・懇談会	6人
7月28日	歩行分析（歩行分析マシーンを使い自分の歩行分析を知る）・福祉用具勉強会	7人
9月22日	施設見学会（新規開設デイサービス2か所）	8人
11月24日	「認知症と睡眠導入薬」について薬剤師による勉強会	9人

1月26日	浅野先生をお招きして懇談会	6人
3月24日	エンディングノートについて	4人
合計	1回	40人

4. 包括的・継続的ケアマネジメント事業 (令和4年4月～令和5年3月末日迄の実績)

地域における包括ケア体制の構築のために地域の介護支援専門員を対象とした専門家との相談会、研修会・意見交換会(ケアマネ連絡会, 合同ケアマネ連絡会、地域ケア会議)を実施している。

また、地域の方々へ情報発信とは別に介護・医療セミナーを開催している。

ケアマネ連絡会

開催月	内　　容	参加人数
4月	合同ケアマネ連絡会・事例検討会「がん末期の方の自己決定支援」	30人
5月	合同ケアマネ連絡会「聴こえと補聴器について」	19人
5月	事例検討会「介護現場の利用者・家族等によるハラスメント」	28人
6月	合同ケアマネ連絡会「パーキンソン病・症状の変化等について」	54人
7月	事例検討会「災害時に向けての準備」	16人
7月	事例検討会「災害時に向けての準備」	16人
8月	個別　地域ケア会議	16人
9月	事例検討会「虐待防止を考えよう」	11人
10月	包括　地域ケア会議	33人
11月	合同ケアマネ連絡会「ケアマネジャーとリスクマネージメント」	34人
12月	合同主任ケアマネジャー連絡会「ファシリテーション研修」	8人
12月	合同ケアマネジャー連絡会「家族支援を考える～中高年の引きこもり」	19人
1月	合同ケアマネ連絡会「介護予防支援・介護予防ケアマネジメント業務伝達研修」	18人
1月	事例検討会「栄養ケアマネジメント」	25人
1月	事例検討会「栄養ケアマネジメント」	25人
1月	民生委員・児童委員とケアマネジャーの交流会	25人
3月	事例検討会「インフォーマルサービス」	9名

サービス担当者会議の開催支援や抱えている困難事例等への相談支援の実施。また新任・就労予定のケアマネジャーが円滑に業務が進められるよう、区単位で実習の受入調整・支援を実施している。

ケアマネジャー相談支援

	相談件数	相談内容														対応										
		介護保険制度 行政サービス情報関連	地域情報関連	ケアプランの作成・内容等	支援困難事例への内訳											制度・行政サービス等の説明・情報提供	地域情報の提供	ケアプラン・ケアマネジメントの助言・指導	対応・他機関との調整						同行訪問	その他
					認知症	精神疾患	ターミナル	医療的支援	独居・高齢世帯介護力不足	サービス・支援拒否	家族の対応・支援	経済的問題	虐待	成年後見制度・消費者被害	その他				居宅サービス事業者等	インフォーマルサービス	在宅医療連携拠点（在宅医療相談室）	施設・医療機関	区役所	その他		
4月	12人	0	0	0	0	0	0	0	1	0	3	0	0	0	4	2	0	0	9	0	0	1	1	0	0	2
5月	18人	0	0	0	2	0	0	1	1	0	7	0	0	1	3	0	0	0	14	0	0	1	1	1	0	4
6月	16人	0	0	0	4	0	0	0	1	0	5	0	0	0	3	0	0	0	9	0	0	0	8	5	0	7
7月	16人	0	0	0	2	0	0	0	1	1	1	1	0	0	7	1	1	0	8	0	0	1	2	1	0	7
8月	18人	0	0	0	2	0	0	0	1	1	4	2	0	2	5	0	0	0	6	0	0	0	6	0	0	8
9月	9人	0	0	1	0	0	0	0	0	0	2	0	1	1	5	0	0	0	3	0	0	0	1	0	0	6
10月	25人	0	0	0	3	1	0	1	0	1	1	0	1	6	0	0	0	0	0	2	0	0	1	2	0	0
11月	41人	0	0	0	3	1	0	2	0	1	1	0	7	3	1	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0	0
12月	26人	0	0	0	2	1	0	3	0	1	1	0	3	6	1	0	0	0	0	0	0	0	1	2	1	31
1月	31人	0	0	0	6	1	0	1	1	1	1	1	2	3	0	0	0	0	0	1	0	0	1	0	0	0
2月	22人	1	0	0	6	1	1	0	0	1	1	0	1	4	0	0	0	0	0	1	0	0	1	0	0	0
3月	38人	0	0	0	5	1	0	1	0	1	1	1	0	9	1	0	0	0	0	2	0	0	1	0	0	0
合計	272人	1人	0人	1人	35人	6人	1人	9人	6人	8人	28人	5人	15人	35人	30人	3人	1人	0人	49人	6人	0人	3人	25人	12人	1人	65人

新任・就労予定ケアマネジャー研修

開催月	内　　容	参加人数
9月	横浜市一般行政サービス・社会福祉協議会・資源循環局サービス等座学	9人
10月	ケアマネジャーと話し合って課題決定。 課題整理評価表の記入のポイントと担当者会議での活用等、住宅改修の理由書作成。特定疾患の介護保険と医療保険の対応について。	1人
11月	介護保険事業所（施設）の種類とその概要（各事業所担当者から説明） 反町福祉機器センター見学及び「在宅リハビリテーション事業」について講義	9人
合計		9人

地域密着型サービス運営推進会議他

地域密着型サービスの運営推進会議参加。運営状況等確認、アドバイス。

開催月	内　　容	参加人数
7月	地域密着型通所介護・認知症対応型通所介護(ふるさと和田町)	4人
6月	小規模多機能型居宅介護　(うの花)	5人
6月	認知症対応型共同生活介護(セントケアホーム)書面開催	0人
9月	地域密着型通所介護・認知症対応型通所介護(fureai和田町)書面開催	0人
9月	地域密着型通所介護(ボンジュール)書面開催	0人
9月	定期巡回型訪問介護看護(豊穣の大地ケア24)書面開催	0人
R5　1月	合同運営推進会議	24人
合計	2回	33人

5. 介護予防事業

(令和4年4月～令和5年3月末日迄の実績)

介護予防の普及啓発活動や地域からの情報提供、本人・家族からの相談等、様々な経路から情報収集を行い、要介護状態になる可能性が高い高齢者を早期に把握するよう努めている。新型コロナウイルス感染症予防を継続しながら、自主化を目指した講座の開催や、フレイル予防のための居場所として新規の事業を立ち上げ、介護予防に対する取り組みを行っている。コロナ禍の影響を受けて活動意欲や参加者が減少している既存の活動グループの支援を行いながら事業を展開していく。

介護予防事業実績

介護予防普及啓発事業　　合計　763人

開催日	事　業　名	内容	参加人数
4月7日～(月1回)	シャキトレ！	体ほぐし(マッサージ)ストレッチや体操	145人
4月11日	スマートフォン講座	スマートフォンの基本操作を学ぶ(協力:ソフトバンク)	20人
4月13日	喫茶ときわだい　青空プラス	わがまち保土ヶ谷体操実施後に、男性かがやき塾の参加者が淹れたコーヒーを提供	20人
4月14日～(月2回)	ゆるのび運動	貯筋運動、わがまち保土ケ谷体操、脳トレなど	40人
4月20日～(月1回)	Let's フラ	フラ(ダンス)で楽しみながら体力づくりを行う	106人
5月23日	きらきら長寿ときめき塾inたまり場①	ロコモ予防・認知症予防、普及・啓発・実践支援	28人
6月14日～(月2回)	サロン ドゥ きらめき	高齢者の居場所づくり。手芸や脳トレ、体操、消費者被害防止など内容はその都度決	66人
6月25日	きらきら長寿ときめき塾inたまり場②	オーラルフレイル予防の普及・啓発・実践支援	24人
7月25日	きらきら長寿ときめき塾inたまり場③	低栄養予防の普及・啓発・実践支援	21人
9月7日	健康講座～生活習慣病予防シリーズ～①	高血圧の治療、生活習慣改善等の普及・啓発	35人
10月20日	アーティフィシャルフラワーアレンジメント	クリスマスシーズンのスワッグを作成。色彩感覚の刺激等で認知症予防に役立てる。	15人
10月27日	きらきら長寿ときめき塾①	口腔機能向上(オーラルフレイル)普及・啓発・実践支援	16人
11月2日	健康講座～生活習慣病予防シリーズ～②	高脂血症の治療、生活習慣改善等の普及・啓発	24人

11月10日	きらきら長寿ときめき塾②	ロコモ予防・認知症予防、普及・啓発・実践支援	17人
11月24日	きらきら長寿ときめき塾③	低栄養予防、普及・啓発・実践支援	14人
12月8日	トイレを気にせず外出しよう	尿漏れの原因についての講義と骨盤底筋体操などを指導する。	31人
12月9日	アーティフィシャルフラワーアレンジメント	お正月飾りを作成。普段、ケアプラザに来ない方の利用促進、色彩感覚の刺激や手先の	15人
1月26日	楽しくコグニサイズ②	地域の高齢者を対象にコグニサイズの普及・啓発を行う。	21人
2月6日	楽しくコグニサイズ②	地域の高齢者を対象にコグニサイズの普及・啓発を行う。	21人
2月1日	健康講座～生活習慣病予防シリーズ～③	動脈硬化、ヒートショック予防等の普及・啓発	33人
2月15日	ノルディックウォーキングin新横浜公園	講師の指導の下、ノルディックウォーキングを行う	8人
3月9日	めざせ！美しい姿勢と笑顔で10歳若見え	講師より、顔の筋肉と姿勢の関係や笑顔のもたらす効果等、講義と実践で学ぶ。	31人
3月23日	春のフラワーアレンジメント	生花のフラワーアレンジメントを作成。認知症予防についても説明を行う。	12人
合計			763人

介護予防活動支援事業　　合計　392人

開催日	事　業　名	内容	参加人数
4月5日	やまゆりの会	ノルディックウォーキング	20人
4月6日～(毎水曜)	ときもり倶楽部	わがまち保土ヶ谷体操・脳トレなど	136人
5月11日～(月1回)	男性かがやき塾～コーヒー編～	コーヒーの淹れ方や選び方、その他実践方法等を身につける。	64人
6月3日～(月2回)	ときわステップ会	スクエアステップ(8月は休み)	43人
6月21日	スクエアステップリーダー・フォローアップ講座	地域で活動しているスクエアステップグループのリーダーを対象とした講座	16人
6月27日	常盤台北部サロン	スクエアステップなど	11人
6月29日	スマイル鎌谷	グループ継続の支援	8人
7月21日	れんが坂	アンケート実施、活動支援	11人
7月25日	常盤台北部サロン	アンケート実施、活動支援	12人
8月8日	さくら会	アンケート実施、活動支援	10人
8月10日	ときわの森体操教室	アンケート実施、活動支援	8人
9月13日	いきいき体操教室	アンケート実施、活動支援	15人
11月10日	地域活動グループリーダー連絡会(運動系)	運傍系グループリーダーの支援	13人
9月13日	地域活動グループリーダー連絡会(サロン系)	サロンや食事会のグループリーダー支援	10人
2月22日	ふれあいかまや	きらり☆シニア塾認定、フレイル予防普及・啓	15人
合計			392人

6. 介護予防支援、介護予防ケアマネジメント事業

（令和4年4月～令和5年3月末日迄の実績）

「要支援1」「要支援2」に認定された方の介護予防支援サービス・支援計画書の作成を実施している。また、業務の一部を居宅介護支援事業者の介護支援専門員に委託できることとなっており、介護予防支援サービス・支援計画書作成委託契約の上、介護予防支援、介護予防ケアマネジメントをお願いし、管理・実施をしている。

介護予防支援、介護予防ケアマネジメント事業実績

指定居宅介護支援事業所に委託している件数　　延合計　2929人

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	委託利用者数
新　規	10	8	12	7	11	9	11	12	9	7	8	8	112
継　続	224	229	225	226	225	224	228	242	250	248	247	249	2817
合　計	234	237	237	233	236	233	239	254	259	255	255	257	2929

	直接				委託				直接	委託	合計
	要支援1		要支援2		要支援1		要支援2				
	新規	継続	新規	継続	新規	継続	新規	継続			
4月	0	1	0	8	5	74	5	150	9	234	243
5月	1	1	0	7	2	74	6	155	9	237	246
6月	1	2	0	6	4	77	8	148	9	237	246
7月	0	2	0	7	4	74	3	152	9	233	242
8月	0	2	0	8	10	77	1	148	10	236	246
9月	1	2	0	8	3	79	6	145	11	233	244
10月	0	3	0	8	8	83	3	145	11	239	250
11月	1	3	1	9	6	91	6	151	14	254	268
12月	0	4	0	9	2	93	7	157	13	259	272
1月	0	4	0	9	3	89	4	159	13	255	268
2月	0	4	1	9	3	90	5	157	14	255	269
3月	0	4	0	10	3	91	5	158	14	257	271
合計	4	32	2	98	53	992	59	1825	136	2929	3065

7. 協力医による活動

無料医療相談、その他

定期的にｹｱﾌﾟﾗｻﾞへ来所して頂き、地域活動交流・地域包括支援センター事業に関する協力をしていただく。新型コロナウイルス感染症により依頼が困難な状況は続いているが、今後も協力を求めていきたい。

開催日	区　分	相談内容等	相談人数
8月31日	包括	コロナウイルス感染予防について	10人
9月5日	包括	個別地域ケア会議への参加	16人
1月26日	包括	介護者の集い　懇談会参加	6人
合計		3回	32人

8. 自主事業

（令和4年4月～令和4年9月末まで）

キャラバン・メイト連絡会

認知症を正しく理解し、認知症の人や家族を温かく見守り支援する市民（認知症サポーター）を一人でも多く増やすための普及啓発活動や認知症の人が住み慣れた地域で自立した生活を継続できるサポート体制の構築するための連絡会と講座を開催する。

開催日	内　　容	参加人数
8月21日	保土ヶ谷区キャラバンメイト連絡会（各包括エリアからキャラバンメイト集合交流会）	20人
9月29日	ときメイト連絡会（オレンジカフェ・認知症サポーター養成講座の企画相談）	5人
合計	2回	25人

認知症サポーター養成講座

開催日	場　　所	参加人数
9月21日	イオン天王町従業員向けサポーター養成講座（区役所・ケアプラザ職員）	438人
2月20日	保土ヶ谷中学校　3学年　認知症サポーター養成講座	301人
2月22日	郵便局職員向けサポーター養成講座	12人
合計	3回	751人

出張講座

地域ケアプラザ並びに地域包括支援センターの役割や、介護予防、各種制度の周知等に加えて、地域の高齢者の実態把握を目的に実施している。また、地域の希望に応じて介護予防普及啓発の講座や健康講座も実施して今後も状況を確認しながら感染対策を実施し、短時間での開催など実施方法についても検討していく。

開催日	内　　容	場　所	参加人数
6月20日	健康講座(体組成測定など)	峰沢町岡沢町自治会館	22人
6月20日	熱中症予防について・脳トレ	上星川ミニデイサロン	38人
12月15日	ゆうゆうサロン(健康講座)	峰沢町岡沢町自治会館	20人
3月6日	ゆうゆうサロン(健康講座)	峰沢町岡沢町自治会館	20人
3月27日	常盤台西部食事会(介護予防総論)	常盤台西部自治会館	16人
合計	5回		100人

情報啓発等

介護予防、介護保険制度、権利擁護の周知、啓発等

来所が難しい地域住民に対して健康相談、生活相談等を受け、必要な制度資源につなげる。

開催日	内　　容	場　所	参加人数
6月20日	ゆうゆうサロン(特殊詐欺の話)	峰沢町岡沢町自治会館	22人
3月6日	ゆうゆうサロン(特殊詐欺の話)	峰沢町岡沢町自治会館	20人
合計	2回		42人

チームオレンジ

認知症サポーターの近隣チームを、認知症の人や家族に繋ぎ、生活面の早期からの支援等を行います。

昨年度は以下のような取り組みが行われました。

開催日	内　　容	場　所	参加人数
6月23日	チームオレンジステップアップ研修	峰沢団地自治会館	23人
7月28日	「認知症家族の会」より村井さんのお話	峰沢団地集会場	20人
8月25日	脳トレを学ぶ講座①	峰沢団地集会場	20人
9月8日	お茶のおいしい淹れ方講座	峰沢団地集会場	23人
10月13日	オレンジカフェを知ろう①	峰沢団地集会場	19人
11月12日	青空芋ほり	峰沢団地集会場 → 畑	43人
12月8日	オレンジカフェを知ろう②	峰沢団地集会場	13人
1月12日	脳トレを学ぶ講座②	峰沢団地集会場	12人
2月16日	脳トレを学ぶ講座③	峰沢団地集会場	17人
3月16日	カフェを開いてみよう	峰沢団地集会場	15人
合計	10回		205人

Ⅱ. 地域活動・交流事業報告

令和5年3月末現在

地域活動事業は、子どもや高齢者、障がい者等、地域に暮らす全ての人たちが、孤立することなく地域の一員として、自分らしく支え合って暮らせる地域づくりを推進できるよう努めています。住民主体の地域づくりが推進するよう、地域福祉保健計画を軸とした事業展開を行い、子育て、障がい、高齢、ボランティア等の福祉に関する事業を実施します。
ケアプラザは4連合地区を担当している為、ケアプラザでの実施だけではなく地域に出向いた形での出張講座をケアプラザ主催もしくは関係機関等と共催にて実施し、様々な交流の場を提供致します。
また、福祉保健活動拠点としての役割を更に活かすため、地域のボランティア団体・自治会との連携を図り、活動団体へ向けた部屋利用促進も図っています。
今年度は新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止の観点から、コロナ禍の状況でも地域活動を後押しすることができる取組等の検討を区役所および区社会福祉協議会と重ね、地域との信頼関係が継続できるように努めております

(1) 地区支援取組状況

第4期地区別計画策定・推進に向けて、所長および地域包括支援課、地域生活支援課と協働し、区役所、区社会福祉協議会とともに各地域の状況やニーズ把握に努めています。
地域住民主体の活動を後押しできるよう、地域住民と地域の目指す姿を共有し、住民主体の地域づくりが更に推進するよう努めています。

地　区	頻度	参　加	内　　容
常盤台地区	毎月第1金曜日	12回	羽沢横国まちづくり協議会　広報部会での「地域まちづくりニュース」の作成
生活支援体制整備事業(4)を参照			

(2) ネットワーク関係

○子育て支援連絡会全体会

全体会は区域で子育て支援を行っている施設や団体、個人のネットワークを広げたり、他のエリアの事例を聞き勉強し、地域の子育て支援を実施して行く目的で開催されています。

開催回数　2　回　　参加者　50　名

○常盤台エリア子育て支援連絡会

子育て支援連絡会は地域で子育て支援を行っている施設や団体、個人の子育て支援を広げていくために開催され
ています。一例として公園マップを作成し完成しました。又、関係機関とのネットワークをを広げていくための情報交換の場として開催されています。

開催回数　2　回　　参加者　37　名

・6月8日：子育て情報発信および受取についての整理・共有について(24名)

※上記の連絡会に向けての協議や地域状況の共有等を目的とした事務局会議を適宜実施しています。

開催回数　3　回　　参加者　17　名

- 2022/8/31常盤台地区子育て支援事務局会議
- 2022/8/31 常盤台地区支援チーム会議
- 2022/9/8峰沢団地サロン「日本茶の入れ方・選び方」講座へ包括支援・生活支援チームオレンジとして参加
- **2023/2/20　保土ケ谷中学校認知症サポーター養成講座へ参加**

(3) 自主事業（当初計画および状況報告）

計画事業名	実施予定頻度	講師など	参加者	内　　容
ときわの森 子育て広場	毎月第4 木曜日	佐藤　亜紀氏 緑川真紀子氏	131名	4月手形アート・認知症講座ママが活躍地域の見守り 5月音とリズム遊び・ハーバリュームを作ろう 6月/9月緑川先生と親子で遊ぼう 8月茶々さんのわくわくお話し会＆夏祭り 10月音とリズム遊びR5・1月お話し会・おやつ試食会
ときわの森 らくらくストレッチ体操教室	毎月1回 末頃	緑川真紀子氏	112名	無理なく、安全にいすに座ってストレッチを行う。講師の楽しい会話を交えながら、わかりやすい動作で行う体操教室.

ときわの森 美と健康体操	毎月第1 水曜日	仲保裕美子氏	235名	体感とトレーニング・筋力アップのストレッチ・骨盤矯正・姿勢分析など、美しい姿勢ろ保つ事を意識しながら行う体操教室。
ときわの森 音と音楽で遊ぼう	毎月第1 水曜日	有富正子氏	72名	音楽療法のできる講師を招いて、発達にかたよりのある児童の統合調整をを行う。
ときわの森 パン教室＆和菓子教室	6月11日 12月24日	松尾恭子氏	18名	季節に応じた和菓子とシュトーレンクリスマスのパン作り教室。
園芸ボランティア活動	毎月第3 月曜日	常盤台コミュティハウス	55名	2階の共有部分の中庭や花壇の整備をボランティアが中心なって季節の花などをみどりの協会より定期的に購入して植えていく。
ときわの森 おもちゃ病院	毎月第2 土曜日	おもちゃ病院ボランティア	35名	ボランティアのおもちゃドクターの協力により壊れたおもちゃを修理して、再び使えるようになる事で物を大切するこころを伝える.
歌声サロン	毎月第1 火曜日	工藤　圭　氏	159名	地域の中高年を対象に開催。皆で声を出して歌うことで地域住民同士の交流を図る又発声による健康維持も図る。
幼稚園ママに幼稚園こと聞いちゃおう！	6月9日	保土ヶ谷区子育て支援拠点こっころ	18名	幼稚園のホームページや説明会などで、わからない事を入園経験者の親の声を直接聞いて、入園時の参考にする。
無料食品配布会	偶数月 第2金曜日	NPO法人ちゃっと NPO法人ぎんがむら	520名	賞味期限の近い食品や日用品を4・5点まとめて、地域の方々h無料配布する。同時に地域活動支援「陶」による手作り革製品、陶器などの販売会も行う。
ときわの森七夕コンサート	7月9日	横浜国立大学吹奏楽団	31名	吹奏楽小編成アンサンブルの生演奏と事前に録画したラージアンサンブル演奏会の映像を観ていただく。
秋の利用者発表会＆作品展	10月2日	利用団体	150名	利用団体の発表会と作品展をケアプラザとコミュニティハウスと共催で開催
第11回桜バザー	3月12日	コーヒー隊・焼きそば調理・園芸ボランティア・おもちゃ病院ボランティア	203名	地域住民の協力で不用品を集めてバザーを開催。同時に淹れたてコーヒー・パン・焼きそば・花の販売を行う。
ときわ図書	閉館日以外 毎日		92冊	リサイクル本の貸出し図書を利用し、読み終わった読書感想を指定の用紙に書いていただいて、次に借りる方の参考にしてもらう。
ときわの森 親子で楽しむクリスマス	12月3日	子育てボランティア	17名	クリスマスにちなんだ内容を企画して楽しんもらう。ボランティアがクリスマスの飾り付けをし、ケアプラザ職員がサンタクロースに扮して、手作りのプレゼントを子どもに渡す
アーティフィシャルフラワーアレンジメント	10月20日 12月9日	横澤千佳子氏	30名	講師より、アーティフィシャルフラワーアレンジメントを指導いただく。10月はクリスマスをイメージしたスワッグ型のフラワー12月はしめ縄飾りを作成した
貸室お掃除大作戦	7月21日・28日	貸室利用団体	120名	団体登録をして、部屋利用している団体にむけて12月中、利用後にいつもより念入りに貸室の掃除をしていただく。

(4)他ケアプラザ、関係機関等との共催事業(当初計画および状況報告)

計画事業名	実施日・実施予定日	参加者	内容
ほっとフレンズ2022夏	7月31日	10名	保土ケ谷区学齢がい児支援事業として、保土ケ谷区在住・在学のハンディのある小学校から高校生までの子と保護者が一緒にボッチャ体験と太鼓の演奏観賞を楽しむ。
ほっとフレンズ2023春	3月26日	12名	保土ケ谷区学齢がい児支援事業として、保土ケ谷区在住・在学のハンディのある小学校から高校生までの子と保護者が一緒にボッチャ体験と打楽器の演奏観賞を楽しむ。
区民まつりへの参加	10月29日	400名	区内コーディネーターが共催事業として保土ケ谷区民まつりに参加をし、来場された方々に生活環境でほっとできる場所などのシールアンケートを取る。

(5)後方支援事業

自主事業等から発足した団体等の後方支援を行い、活動団体運営の安定化を図っております。

事業名	実施日	実施回数	内容
だいこんくらぶ料理教室		休止中	毎月1回ケアプラザにて料理教室を開催しイベント時のボランティア活動につなげている。新型コロナウイルス感染拡大の影響で今年度は休止している。
つるし雛 ときわ会	1回	退会	自主事業「今日から始めるつるし雛」より自主グループで活動して利用者発表会での作品展示に参加。
お楽しみ手芸教室	第4土曜日	8回	ボランティアの協力のもと木目込み人形作成している自主グループ、利用者発表会での作品展示に参加。 新型コロナウイルス感染拡大の影響で4月～8月は開催なし。
韓国語教室・じゃんけんぽん	第2・4 木曜日	24回	第1回韓国語講座からの自主グループ。 横浜国立大学留学生講師に招いて韓国語を学ぶ。
韓国語教室・アンニョン	第1・3 火曜日	22回	第2回韓国語講座からの自主グループ。 横浜国立大学留学生講師に招いて韓国語を学ぶ。
ダンスクラブ	第1・3 木曜日	23回	ケアプラザ事業から発展して自主グループとなりジャズダンスを練習、イベントやデイサービスでのボランティア活動につながっている。
ヨーガ教室	第1・3 金曜日	23回	ヨーガの基本的なポーズとストレッチを専門講師の指導のもと年代を問わず無理なく運動を進めていく。

(6)広報誌の発行

発行回数　毎月発行　　発行部数　1000部/月

主な自主事業のチラシは、自治会の掲示板にも掲示。

又、事業参加者募集に関しては、ホームページにも掲載依頼を行っております。

(7)貸し館状況

・件数実績(R4.4-R5.3)

部屋別＼四半期	第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期	合計
多目的ホール	123件	145件	165件	144件	577件
調理室	10件	8件	22件	18件	58件
ボランティア室	53件	61件	59件	58件	231件
地域ケアルーム	62件	64件	67件	67件	260件
合計	248件	278件	313件	287件	1126件

・前年件数実績(R3.4-R4.3)

部屋別＼四半期	第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期	合計
多目的ホール	123件	92件	124件	92件	431件
調理室	6件	3件	11件	4件	24件
ボランティア室	52件	24件	50件	40件	166件
地域ケアルーム	59件	45件	59件	65件	228件
合計	240件	164件	244件	201件	849件

・利用率(R4.4-R5.3)

時間帯＼部屋別	多目的ホール	調理室	ボランティア室	地域ケアルーム
9-12時	41%	6%	16%	30%
12-15時	54%	6%	14%	15%
15-18時	40%	3%	9%	7%
18-21時	17%	2%	7%	4%

・前年利用率(R3.4-R4.3)

時間帯＼部屋別	多目的ホール	調理室	ボランティア室	地域ケアルーム
9-12時	28%	17%	27%	18%
12-15時	3%	1%	7%	1%
15-18時	10%	4%	8%	8%
18-21時	13%	9%	11%	13%

※横浜市の通知に基づき、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止に留意した施設運営を行っています。社会情勢により都度の利用内容の変更が伴うこともありますが、貸室団体とのコミュニケーションを図りながら、感染防止対策を徹底し、より多くの皆様にプラザを活用していただけるよう、引き続き努めていきます。

(8)ボランティア関係

団体名	内容	登録者数	実施回数
子育て広場 (水遊び・クリスマス会含	未就園児の自主事業内の見守り	4名	13回
ときもり倶楽部	高齢者対象のサロン	2名	46回
ノルディックウオーキング	中高年のウォーキング	2名	21回
園芸ボランティア	ケアプラザ・コミュニティハウス内の庭の整備、花植え	8名	11回
おもちゃ病院	壊れたおもちゃを修理	2名	11回
和菓子＆パン教室	比較的若い世代中心のパン教室の講師のお手伝い	1名	2回
利用者発表会＆作品展	利用者団体の活動の成果を披露する	13名	1回
桜バザー	地域の方々からの不用品を集めバザーを開催	29名	1回

※新型コロナウイルス感染症感染拡大防止の観点から、自主的に活動を休止している団体さんもございます。既に活動を段階的に再開している団体さんもございますが、今後も引き続き活動が円滑に実施できるよう地域包括支援,地域生活支援と協働し支援を行っていけるよう、努めていきます。

(9)その他　取組状況

項目名	頻度	参加回数	内容
地域活動・交流CO連絡会	毎月1回	12回	区内他ケアプラザコーディネーターとの情報共有、共催事業についての協議・検討、研修会等の実施。
保土ケ谷区子育て支援連絡会事務局会議	年3回	4月28日 8月31日 12月22日	エリア別子育て支援連絡会が、各エリア別の地域福祉保健計画と連動して運営できるよう各エリアの課題などを共有し、区と関係機関と一緒に取組むことを目的に実施。
ケアプラザ・コミュニティハウス会議	毎月1回	11回	各自主事業、共催事業、や施設管理の情報と共有打合せを行うことで施設間のコミュニケーションを図る。
ほっとフレンズ実行委員会	開催日まで	3回	保土ケ谷区学齢障がい児余暇支援事業としてほっとフレンズの開催にむけて区内ケアプラザのコーディーネーターと関係機関の委員会を開催
保土ケ谷区・他区どの合同地域活動・交流CO連絡会	年1回	令和5年 1月27日	区外のコーディネーターとの情報共有や資質向上を目的とした内容にて実施。

Ⅲ. 生活支援体制整備事業　事業報告

令和5年3月末現在

地域のインフォーマルサービスの整備や担い手の発掘、地域の基盤整備等地域の様々な活動把握を行い、ニーズに応じて運営をしております。
地域の発展やニーズに応えるため、出張講座や地域の取組への参加、介護保険事業所や民間企業との連携、協議体、自主事業等を行っております。
また、地域の見守りについて強化を図る為、担当の4地区に全てにおいて共有する機会を設け、地域と民間企業、地域ケアプラザが繋がるきっかけづくりを行っております。
今年度は新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、地域の活動団体が減少する傾向にあります。
地域の活動団体の継続を目標とし、継続に対するノウハウを伝えたり、共に考えることで、地域と一緒になって動くことを念頭に置き支援しております。

(1) 自主事業(生活支援課共催事業【他事業所共催含】)

事業名	実施日	講師など	参加者	内容	開催
ワークショップ	令和4年5月21日、7月16日、8月27日、9月10日、11月12日 令和5年2月18日	横浜国立大学 大原一興氏	257名	地域住民と学生が話し合い、住みやすいまちづくりについて検討する。「とどまりたい場所づくり」をテーマに、地域に置く「イスづくり」に取り組んだ。	横浜国立大学(常盤台まちづくり応援団)共催
男性かがやき塾 ～コーヒー編～	月1回(8月は休み) 基本第2水曜	杉山　輝義氏	64名	シニア男性、またはご夫婦を対象に、コーヒーの淹れ方を学ぶ講座。男性の居場所づくり、活躍へのきっかけづくり。	地域包括共催
喫茶ときわだい青空体操プラス	4月13日	杉山　輝義氏	20名	保健師より介護予防体操の紹介を行い、シニア男性ボランティアが技術を活かしドリップコーヒーを地域住民に提供する。感染症対策のため、屋外で実施した。	地域包括共催
シャキトレ！	月1回 基本第1木曜	福吉　良子氏	145名	講師に学びながら、ロコモ予防の体操を行う。また、生活に取り入れられる運動を学ぶ。グループの自主化を目指して支援した。	地域包括共催
Let's フラ♪	月1回 基本第3水曜	寺田　まり子氏	106名	講師に学びながら、フラダンスを行う。グループの自主化を目指して支援した。	地域包括共催
ゆるのび運動	月2回 基本第2・4木曜	講師無し	40名	生活に取り入れられる体操を学び、楽しみながら実践する運動。	地域包括共催
スクエアステップリーダー・フォローアップ講座	6月21日	村井　キヌエ氏	16名	講師からスクエアステップの楽しさを学ぶと共に、グループに生かす方法やリーダーの役割を指導する。また、グループリーダー同士の交流の場として活用する。	地域包括共催
サロン　ドゥ　きらめき	月2回 基本第2・4火曜	講師無し	66名	高齢者が人と交流し、認知症予防をしながら、生きがいとなる居場所づくりを行う。手芸や、脳トレ、体操、消費者被害予防など、参加者と相談しながら、サロンでやることを決めて実施した。	地域包括共催
スマートフォン講座	4月11日	ソフトバンク株式会社 スマホアドバイザー	20名	スマートフォンの注意点・基本的な操作方法、日常で使える機能・アプリ等を学ぶ。	地域活動・地域包括共催
楽しくコグニサイズ	令和5年1月26日、2月9日	高垣　茂子氏	42名	楽しみながら健康づくりや仲間づくりができるよう、コグニサイズの普及・啓発を行う。	地域包括共催
地域活動グループリーダー連絡会	11月10日、12月20日	1回目　林野　翔太氏 2回目　山下　皓司氏	23名	運動系のグループにはPTより体力測定や体操を、サロン・食事会のグループにはSTより口腔機能の維持向上等の説明を行った。	地域包括共催
アーティフィシャルフラワー講座アレンジメント	10月20日、12月9日	横澤　千佳子氏	30名	地域住民に改めてケアプラザを知ってもらう機会づくり、多世代交流の場。五感を使うことで認知症予防。10月はクリスマスのスワッグ、12月はお正月飾りを作成した。	地域活動・地域包括共催

喫茶ときわだい	11月30日	杉山　輝義氏	28名	シニア男性ボランティアが技術を活かしドリップコーヒーを地域住民に提供する。	地域包括共催
春のフラワーアレンジメント	3月23日	小川　洋子氏	12名	生花のフラワーアレンジメントを作成。認知症予防についても説明を行う。	地域活動・地域包括共催
出張コーヒー隊	3月27日	講師無し	20名	男性かがやき塾～コーヒー編～でドリップコーヒーの淹れ方を学んだシニア男性が、地域向けにコーヒーの提供を行う。実践編としてケアプラザ外の自治会館での食事会にて開催する。	地域包括共催

(2) 地域活動・団体立ち上げ・継続支援（常盤台CP以外での活動等）

団体・活動名	地区	運営	対象	内　　容	支援
常盤台ささえあいネットワーク「ありが隊」	常盤台地区	常盤台地区社会福祉協議会	常盤台地区	生活支援ボランティア団体の運営（窓口等）	運営支援 継続支援
羽沢横国まちづくり協議会	常盤台地区	羽沢横国まちづくり協議会	羽沢地区・常盤台地区	「地域まちづくりプラン」の策定のため協議を行う。ケアプラザと横浜国立大学と共催で行うワークショップと連動している。ケアプラザは事務局を務めており、連絡・調整を行う。	運営支援
ときもり倶楽部	常盤台地区	ときもり倶楽部	主に常盤台地区の方	体操・歌等を行う活動グループの継続支援	継続支援
ときわステップ会	常盤台地区	ときわステップ会	どなたでも	スクエアステップを行う活動グループの継続支援	継続支援

(3) 後方支援事業

常盤台地域ケアプラザ自主事業から発足した団体の後方支援を行い、団体の安定化を図っております。

事 業 名	実 施 日	実施回数	内　　容
転倒予防教室「スマイル」	6月29日	1回	体操・ヨガ等を行う活動グループの継続支援 助成金申請方法や団体継続のアドバイスや相談等

(4) 地区支援取組状況

担当する4地区の会議等に参加し、地域のニーズや目指す方向性の確認、検討を行っております。

地　区	頻度	参　加	内　　容
常盤台地区	随時	32回	・常盤台地区連合町内会定例役員会議 ・常盤台地区社協便利マップづくり会議 ・羽沢横国まちづくり協議会(サインづくり推進会) ・常盤台ささえあいボランティアありが隊運営会議(協議体) ・区役所、区社会福祉協議会との地区支援チーム会議　等
和田・釜台地区	定例会は2ヶ月に1回(その他必要に応じ随時)	11回	・たまり場/HO運営委員会(協議体) ・区役所、区社会福祉協議会との地区支援チーム会議　等

中央東部地区	定例会は2ヶ月に1回(その他必要に応じ随時)	15回	・中央東部地区懇談会 ・区役所、区社会福祉協議会との地区支援チーム会議　等
上星川地区	必要に応じ随時	10回	・上星川地区社協役員会、拡大執行会議 ・区役所、区社会福祉協議会との地区支援チーム会議　等

(5)生活支援取組状況

生活支援関係のニーズ把握や、地域との関係作りの為、下記の取組を行って参りました。
また、地域包括支援センター、地域活動交流事業と連携を図り、地域からの講座依頼等には、積極的に参加や協力をしております。4地区担当をメリットと捉え、他地区の情報や知識を活かしながら、活動しております。

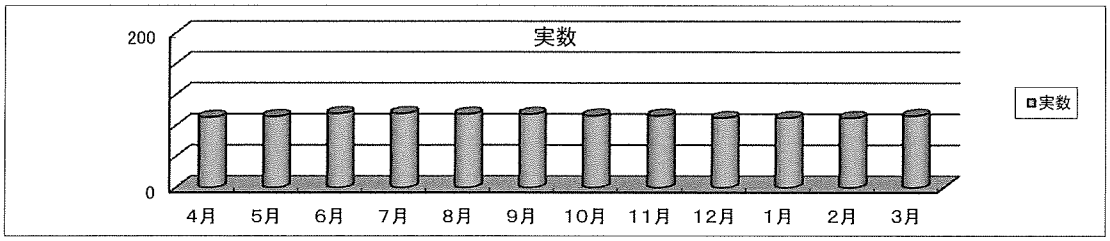
参加項目名	内容	頻度	参加
生活支援Co連絡会の参加	区版指針の作成、他のコーディネーターの取組の共有、研修報告、勉強会等の実施。	毎月1回	12回
地域の取組への参加	福祉教育、防災訓練、交流会、お祭り等への参加及び生支援体制整備事業の周知	随時開催	5回
生活支援関係研修・講演会への参加	生活支援コーディネーター研修、介護予防研修、地域フォーラム等の研修・講演会への参加	随時開催	9回
地区別データの分析	各地区の高齢化率、人口、インフォーマルサービス等を一覧として整理し、分析を行う		
区役所・区社会福祉協議会との合同カンファレンス	地域包括支援課3職種、地域活動・交流Co，生活支援Co、区役所、区社協と生活支援についての合同カンファレンス 新型コロナウイルス感染拡大防止の為、8月は中止。	毎月1回	12回
所内5職種会議への参加	地域包括・地域活動・生活支援での合同会議により、各課の情報共有と業務の進捗状況の把握	毎月1回	12回
Ayamu(ヨコハマ地域活動・サービス検索ナビ)の入力・編集・公開作業	地域で活動するグループ等の情報の更新、 ヨコハマ地域活動・サービス検索ナビでの公開作業を行う		
Ayamu(ヨコハマ地域活動・サービス検索ナビ)、きらりシニアマップの周知	民生ケアマネ連絡会やケアマネージャーの事例検討会の場で、 ヨコハマ地域活動・サービス検索ナビやきらりシニアマップの説明を行う		

Ⅳ. 居宅介護支援事業　事業報告

令和5年3月末現在

1. サービス利用者数

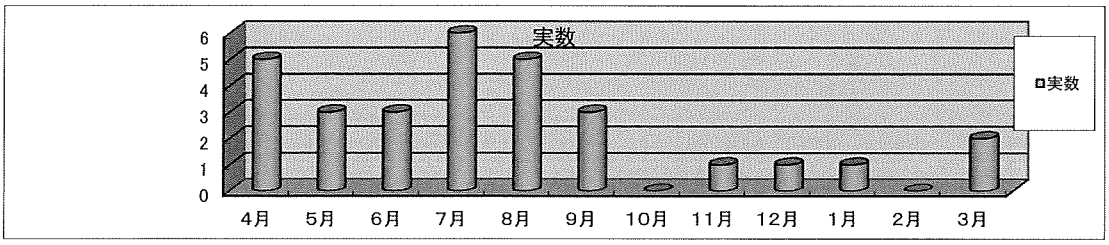
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
登録数	91	92	96	96	95	95	93	93	90	90	90	93	1114
実数	82	84	87	88	89	92	89	87	87	85	84	86	1040
割合	90.1%	91.3%	90.6%	91.7%	93.7%	96.8%	95.7%	93.5%	96.7%	94.4%	93.3%	92.5%	93.4%
前年実数	80	80	93	93	80	82	78	80	81	81	79	80	987



2. 新規サービス開始

令和5年3月末現在

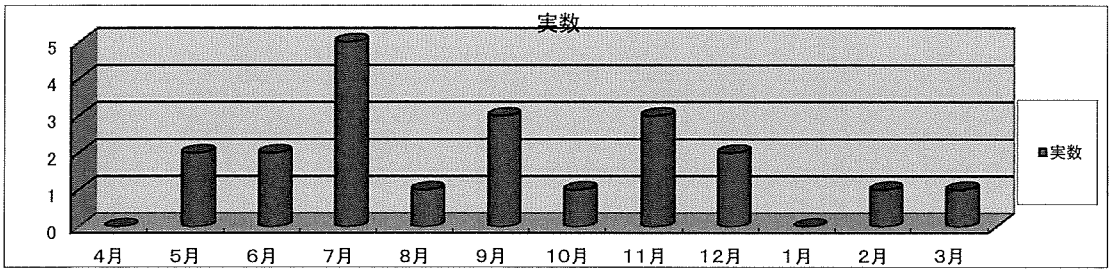
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
依頼	6	4	6	2	3	4	0	4	2	1	3	2	37
実数	5	3	3	6	5	3	0	1	1	1	0	2	30
割合	16.7%	10.0%	10.0%	20.0%	16.7%	10.0%	0.0%	3.3%	3.3%	3.3%	0.0%	6.7%	100.0%



3. サービス利用中止

令和5年3月末現在

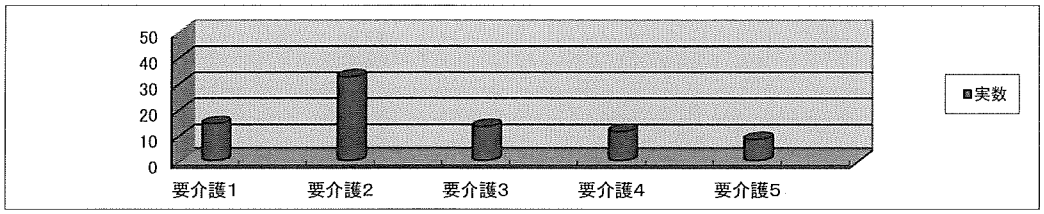
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
登録数	91	92	96	96	95	95	93	93	90	90	90	93	1114
実数	0	2	2	6	1	3	1	3	2	0	1	1	22



4. 介護度別実績　　令和5年3月末現在

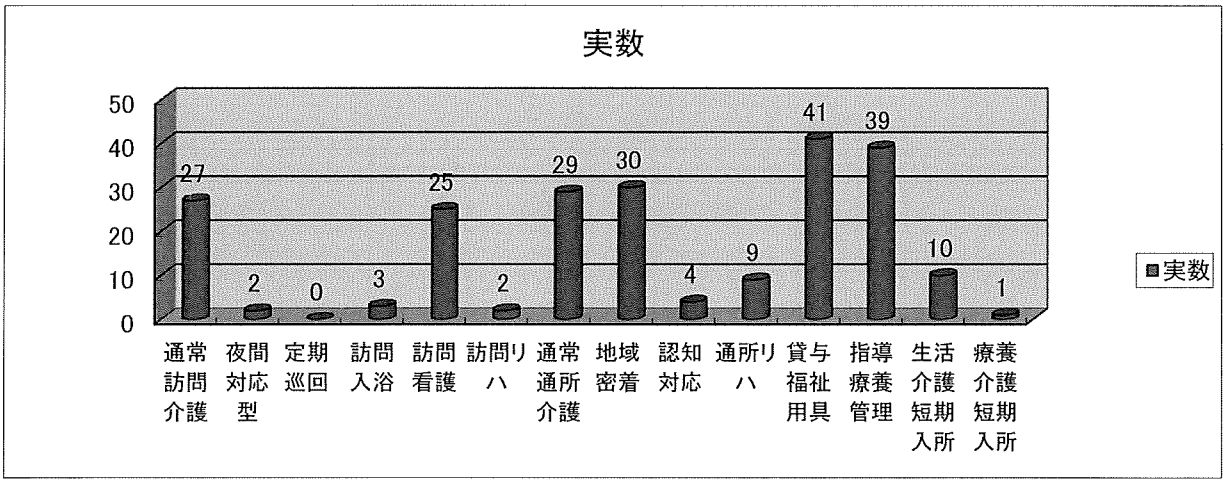
	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	合計
実数	15	33	14	12	9	83

※月末日において認定結果が出ていない方は除いています。



5. サービス種類別分布　　令和5年3月末現在

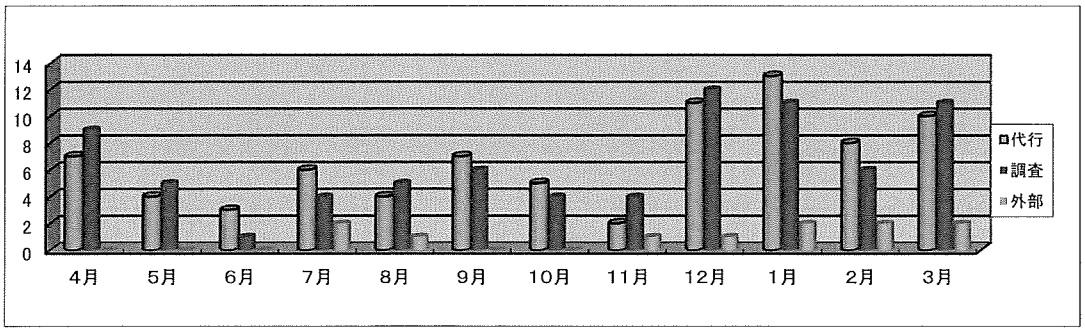
	訪問介護			訪問入浴	訪問看護	訪問リハ	通所介護			通所リハ	福祉用具貸与	療養管理指導	短期入所生活介護	短期入所療養介護	合計
	通常	夜間対応型	定期巡回				通常	地域密着	認知対応						
業者数	9	1	0	1	9	2	5	12	2	6	17	19	6	1	90
人　数	27	2	0	3	25	2	29	30	4	9	41	39	10	1	222
割　合	12.2%	0.9%	0.0%	1.4%	11.3%	0.9%	13.1%	13.5%	1.8%	4.1%	18.5%	17.6%	4.5%	0.5%	100.0%



6. 認定調査申請代行件数・認定調査(調査:通常　外部:市外等)実施件数　　令和5年3月末現在

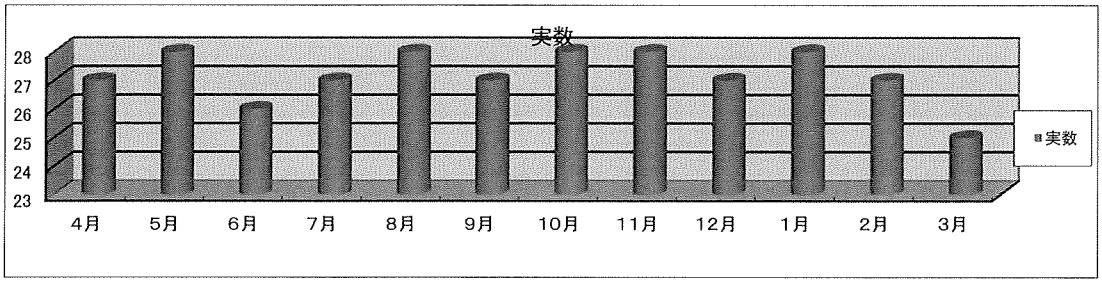
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
代行	7	4	3	6	4	7	5	2	11	13	8	10	80
調査	9	5	1	4	5	6	4	4	12	11	6	11	78
外部	0	0	0	2	1	0	0	1	1	2	2	2	11

申請代行は、担当している件数。認定調査は、担当者分＋地域包括支援課からの依頼分含む。



7. 介護予防利用者実績

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
登録数	28	29	28	28	30	30	30	31	30	30	30	28	352
実数	27	28	26	27	28	27	28	28	27	28	27	25	326
割数	96.4%	96.6%	92.9%	96.4%	93.3%	90.0%	93.3%	90.3%	90.0%	93.3%	90.0%	89.3%	92.6%
前年実数	24	23	24	24	25	24	25	26	27	28	27	27	304



8.まとめ

○　特定事業所加算Ⅲを算定しています。

特定加算要件

①サービス提供の為の留意事項に係る伝達等を目的とした概ね週1回の定期会議実施
②24時間連絡、相談体制の確保　③計画的な研修実施　④地域包括から紹介の困難事例に対応
⑤地域包括等が実施する事例検討会等に参加
⑥運営基準、特定事業所集中減算の適用を受けていない
⑦ケアマネ一人当たりの担当平均件数40件未満　⑧ケアマネ実務研修に協力
⑨他の法人が運営する居宅介護支援事業所と共同で事例検討会、研修会等を実施

○　ご利用人数は介護利用者が前年対比約６％増加、予防利用者は約８％増加致しました。
新規ケースは３０件受託しており、前年対比での実績増加につながっております。専従３名のケアマネジャー各々の担当バランスに配慮しながら事業実施してまいります。

Ⅴa. 通所介護事業　事業報告

令和5年3月末現在

本年度は、利用者一人ひとりに合わせたきめ細かいケアの実現と、レクリエーションや機能訓練のプログラムの充実を目標に事業運営を行いました。
通所介護事業所として、介護予防の対象の方には、これからも要介護状態にならないように又、要介護状態の方にも、今の身体状態を維持・向上できるように援助するとともに、地域に居住している高齢者としての交流の場・ゆとりのある入浴・きめ細やかな食事の提供・住み慣れた地域の中でいつまでも自分らしく生活できるように、介護支援専門員との調整を行いサービス提供を行いました。

1　利用実績　　（令和4年4月1日　～　令和5年3月31日までの実績）

	予防	介護	全体
総利用人数	638名	5243名	5881名
総可動日数	308日	308日	308日
平均利用者人数	2.1名	17名	19名

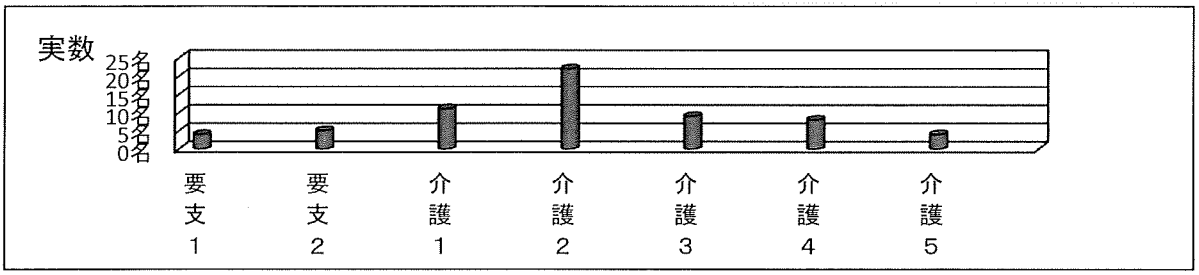
2　申し込み状況　（延べ件数）

申し込み件数　23件　（内訳:介護　18件　予防　5件）

中止件数　18件　（内訳:介護　18件　予防　0件）
理由　①入所 9件　②逝去　7件　③私用　2件

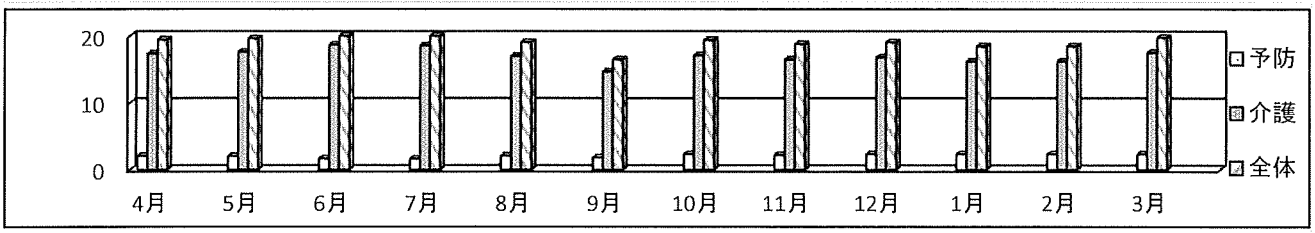
3　要介護度別利用人数と割合

	要支1	要支2	介護1	介護2	介護3	介護4	介護5	合計
登録	4名	5名	12名	24名	9名	9名	5名	68名
実数	4名	5名	11名	22名	9名	8名	4名	63名
%	6.3%	7.9%	17.5%	34.9%	14.3%	12.7%	6.3%	100.0%



4　月別利用人数と平均

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合　計	
予防	54	52	43	42	56	47	60	58	55	55	55	61	638 名	予防
介護	451	458	486	483	459	382	444	430	402	388	388	472	5243 名	介護
全体	505	510	529	525	515	429	504	488	457	443	443	533	5881 名	全体
日	26	26	26	26	27	26	26	26	24	24	24	27	308 日	日
予防	2.1	2.0	1.7	1.6	2.1	1.8	2.3	2.2	2.3	2.3	2.3	2.3	2.10 名	1日平均
介護	17.3	17.6	18.7	18.6	17.0	14.7	17.1	16.5	16.8	16.2	16.2	17.5	17.0 名	1日平均
全体	19.4	19.6	20.3	20.2	19.1	16.5	19.4	18.8	19.0	18.5	18.5	19.7	19.0 名	1日平均
前年人数	520.0	526.0	500.0	511.0	518.0	516.0	522.0	526.0	513.0	501.0	471.0	511.0	6135 名	全体



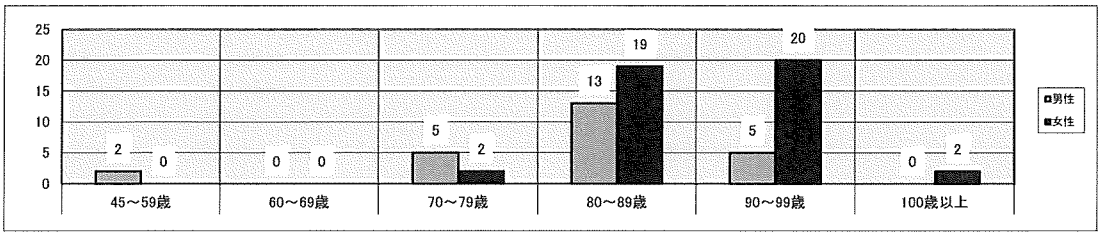
5 町別利用者数　（登録者68名の内訳）

1	常盤台	18 名	7	岡沢	6 名	13		名
2	和田町	7 名	8	峰岡	4 名	14		名
3	上星川	5 名	9	峰沢	6 名	15		名
4	羽沢南	4 名	10	仏向	1 名	16		名
5	釜台	11 名	11	坂本	1 名	17		名
6	鎌谷	5 名	12		0 名		合計	68 名

6 利用者平均年齢

	男性	女性
最高年齢	97 歳	102 歳
最低年齢	54 歳	77 歳
平均年齢	82.1 歳	89.3 歳
全体の平均	86 歳	
人数構成	25 名	43 名

	男性	女性
45～59歳	2 名	0 名
60～69歳	0 名	0 名
70～79歳	5 名	2 名
80～89歳	13 名	19 名
90～99歳	5 名	20 名
100歳以上	0 名	2 名



7 依頼居宅支援事業者　（総件数 68件の内訳）

他事業所　39　（　17事業所　）　自事業所　29（包括1件）

8 行事

4月　誕生会・園遊会中止・レクリエーション
5月　誕生会・レクリエーション
6月　誕生会・レクリエーション
7月　誕生会・七夕コンサート・レクリエーション
8月　誕生会・夏祭りレク・レクリエーション
9月　誕生会・レクリエーション・育和幼稚園敬老交流会中止
10月　誕生会・体力測定・レクリエーション
11月　誕生会・レクリエーション
12月　誕生会・クリスマスランチ・レクリエーション
1月　誕生会・正月レク・レクリエーション
2月　誕生会・レクリエーション
3月　誕生会・レクリエーション

9 まとめ

○令和4年度の延べ利用人数は、前年対比で通所介護は約5%減(254名減)。認知症対応型通所介護は約39%減(310名減)となっています。全体としては新規申し込み25件に対して利用中止が21件となっており、結果として前年よりも延べ利用者数が減少しております。更に新規ご利用者の獲得に努めて参ります。

○アクリル板によるテーブル席の個別間仕切り、デイルーム内消毒、換気等、新型コロナウイルス感染症対策を行いました。9月ご利用者様の新型コロナウイルス感染者が増加したため、ご利用者様に感染状況をお知らせしたうえで、1日のご利用人数を減らす等の対応を致しました。

○7月七夕コンサート、8月夏祭りレクリエーションなど少しづつイベントやボランティア受け入れを再開致しました。

Vb. 認知症対応型通所介護事業報告

令和5年3末現在

本年度は、利用者一人ひとりに合わせたきめ細かいケアの実現と、レクリエーションや機能訓練のプログラムの充実を目標に事業運営を行いました。
認知症対応型通所介護(みどりデイサービス)については、個別レクリエーションの充実と職員の認知症ケアに対する理解とスキルアップのための研修に力を入れました。

1 利用実績　　(令和4年4月1日　～　令和5年3月31日までの実績)

	認知
総利用人数	506
総可動日数	308日
平均利用者人数	1.6名

2 申し込み状況　(延べ件数)

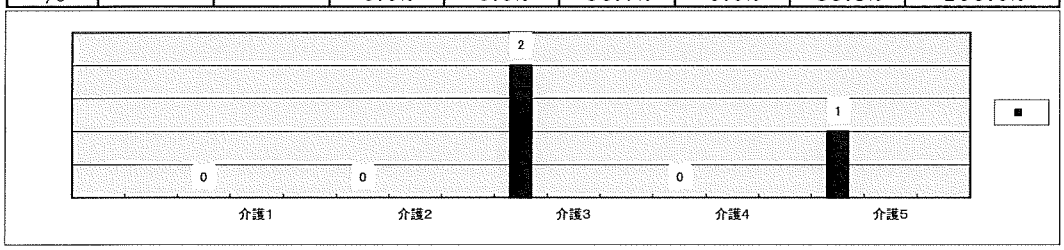
申し込み件数　　2件

中止件数　　3件

内訳(逝去2名　入所1名)

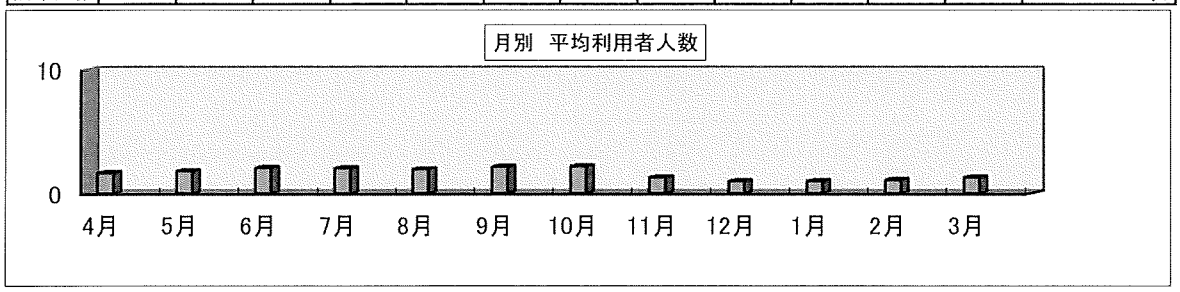
3 要介護度別利用人数と割合

			介護1	介護2	介護3	介護4	介護5	合計
登録			0名	0名	2名	0名	1名	3名
実数			0名	0名	2名	0名	1名	3名
%			0.0%	0.0%	66.7%	0.0%	33.3%	100.0%



4 月別利用人数と平均

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合　計
認知	43	47	54	53	53	56	56	34	25	24	26	35	506 名
日	26	26	26	26	27	26	26	26	24	24	24	27	308 日
平均	1.7	1.8	2.1	2.0	2.0	2.2	2.2	1.3	1.0	1.0	1.1	1.3	1.60 名
前年人数	48	52	68	72	83	91	91	86	83	50	46	46	816 名



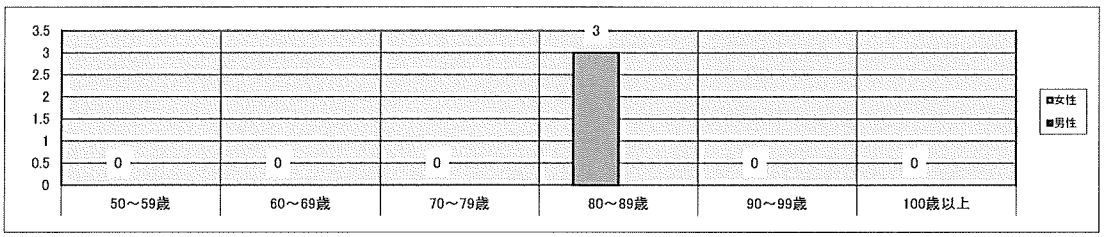
5 町別利用者数　　(登録者3名の内訳)

1	常盤台	1 名
2	羽沢南	1 名
3	鎌谷	1 名
4		
5		
6		
	合計	3 名

6 利用者平均年齢

	男性	女性
最高年齢	0 歳	88 歳
最低年齢	0 歳	84 歳
平均年齢	0 歳	86 歳
全体平均	86	
人数構成	0 名	3 名

	男性	女性
50～59歳	0 名	0 名
60～69歳	0 名	0 名
70～79歳	0 名	0 名
80～89歳	0 名	3 名
90～99歳	0 名	0 名
100歳以上	0 名	0 名



7 依頼居宅支援事業者　（総件数 3件の内訳）

他事業所　0件　（　事業所　）　自事業所　3件

8 行事

4月　誕生会・園遊会中止・個別レク（読み聞かせ・ことわざ・手作業）
5月　誕生会・個別レク（読み聞かせ・ことわざ・手作業）
6月　誕生会・個別レク（読み聞かせ・ことわざ・手作業）
7月　誕生会・七夕コンサート・個別レク（読み聞かせ・ことわざ・手作業）
8月　誕生会・夏祭りレク・個別レク（読み聞かせ・ことわざ・手作業）
9月　誕生会・育和幼稚園敬老交流会中止・個別レク（読み聞かせ・ことわざ・手作業）
10月　誕生会・体力測定・個別レク（読み聞かせ・ことわざ・手作業）
11月　誕生会・個別レク（読み聞かせ・ことわざ・手作業）
12月　誕生会・クリスマスランチ・個別レク（読み聞かせ・ことわざ・手作業）
1月　誕生会・七夕コンサート・個別レク（読み聞かせ・ことわざ・手作業）
2月　誕生会・個別レク（読み聞かせ・ことわざ・手作業）